

DCi- USERS MANUAL

FAST ETHERNET PRINT SERVER

Mini100m/300m

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

PCI-
USERS MANUAL
FAST ETHERNET PRINT SERVER

Mini100m/300m

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

必ずお読みください

OS別設定ガイド
OS別に設定方法の流れを説明します。

第1章 はじめに
本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 ハードウェアインストール
本製品の設置方法およびネットワーク、プリンターへの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 ソフトウェアインストール
「Smart Print Manager」や「LPR for Windows」のインストールについて説明します。

第4章 ネットワークの設定
ネットワークおよびMini100m/300mの設定について説明します。

第5章 プリント設定
本製品を使って印刷するための設定手順について説明します。ご使用のネットワーク環境に該当するページをお読み下さい。

付録

付録A トラブルシューティング
「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 仕様
本製品の製品仕様です。

付録C ネットワーク設定ガイド
Windows95/98でのネットワーク設定の方法について説明します。

《マニュアル内の表記について》
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

目次

第1章 はじめに

- 1. 概要 1
- 2. 特長 2
- 3. 梱包内容の確認 2
- 4. 各部の名称 3

第2章 ハードウェアインストール

- 1. 設置場所について 5
- 2. プリンタへの接続 5
- 3. ネットワークへの接続 7
- 4. 電源の接続 8

第3章 ソフトウェアインストール

- 1. SMART PRINT MANAGERのインストール 10
- 2. LPR for Windowsのインストール 11

第4章 ネットワークの設定

- 1. Windows95/98ネットワーク 15
 - 1-a NetBEUIプロトコルを追加 16
 - 1-b TCP/IPプロトコルを追加 19
 - 1-c IPX/SPXプロトコルを追加 22
- 2. Windows2000ネットワーク 25
 - 2-a NetBEUIプロトコルを使用する場合 25
 - 2-b TCP/IPプロトコルを使用する場合 29
 - 2-c IPX/SPXプロトコルを使用する場合 33
- 3. WindowsNTネットワーク 37
 - 3-a NetBEUIプロトコルを使用する場合 37
 - 3-b TCP/IPプロトコルを使用する場合 40
 - 3-c IPX/SPXプロトコルを使用する場合 44
- 4. Mini100m/300mの設定を行う 47
 - 4-a Mini100m/300mにワークグループ名を設定する 47
 - 4-b Mini100m/300mにIPアドレスを設定する 51
 - 4-c TELNETを使って設定する 55

第5章	プリント設定	69
	1. Windows95/98から印刷する	70
	1-a NetBEUIプロトコルで設定する	70
	1-b TCP/IPプロトコルで設定する	76
	2. WindowsNTから印刷する	85
	2-a NetBEUIプロトコルで設定する	85
	2-b TCP/IPプロトコルで設定する	88
	3. WindowsNTサーバ経由で印刷する	93
	3-a NetBEUIプロトコルで設定する	93
	3-b TCP/IPプロトコルで設定する	97
	3-c クライアントPCの背亭手順	102
	4. Windows2000から印刷する	108
	4-a NetBEUIプロトコルで設定する	108
	4-b TCP/IPプロトコルで設定する	116
	5. NetWareサーバ経由で印刷する	126
	5-a プリントサーバモードで設定する手順について	126
	5-b リモートプリンタとしてセットアップする方法	131
	5-c NDSプリントサーバモードで設定する手順について	133
	5-d NDSリモートプリンタとしてセットアップする方法	141
	5-e クライアントPCの設定手順	143
	6. Macintoshから印刷する	147
	7. UNIXから印刷する	153
付録A	トラブルシューティング	167
付録B	仕様	171
付録C	ネットワーク設定ガイド	173
	1. Windows95/98でのネットワーク設定	173
	2. NetBEUIを使用したネットワークの設定	175
	3. TCP/IPを使用したネットワークの設定	177
	4. ユーザー情報の設定	181

※ 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

OS別 設定ガイド

Windows 95/98で印刷する場合の手順

印刷データを直接Mini100m/300mへ送信します。特定のコンピュータを常に起動しておく必要はありませんが、複数のコンピュータから印刷を実行すると、ポートが使用中となり印刷を拒否されることがあります。

- 1.「第2章 ハードウェアインストール」を参考に、Mini100m/300mの接続と設置を行なってください。
- 2.必要なソフトウェアのインストールを行ないます。「第3章 ソフトウェアインストール」3-1を参考に「SMART PRINT MANAGER」をインストールしてください(設定ユーティリティですので複数のコンピュータにインストールする必要はありません)。使用するプロトコルによっては「LPR for Windows」をインストールする必要があります。本文を読んでご使用の環境に合わせてインストールを行なってください。
- 3.ネットワークの設定が正しく行なわれているか確認します。「第4章 ネットワークの設定」4-1を参考にご使用になるコンピュータの設定を確認して、4-4を参考にMini100m/300mの設定を行なってください。
- 4.プリンタの設定を行ないます。「第5章 プリント設定」5-1を参考にプリンタの設定を行なってください。この操作はMini100m/300mで印刷を行ないたいすべてのコンピュータで行なう必要があります。

Windows 2000で印刷する場合の手順

印刷データを直接Mini100m/Mini300mへ送信します。特定のコンピュータを常に起動しておく必要はありませんが、複数のコンピュータから印刷を実行すると、ポートが使用中となり印刷を拒否されることがあります。

- 1.「第2章 ハードウェアインストール」を参考に、Mini100m/Mini300mの接続と設置を行ってください。
- 2.必要なソフトウェアのインストールを行います。「第3章 ソフトウェアインストール」3-1を参考に「SMART PRINT MANAGER」をインストールしてください(設定ユーティリティですので複数のコンピュータにインストールする必要はありません)。
- 3.ネットワークの設定が正しく行われているか確認します。「第4章 ネットワークの設定」4-2を参考にご使用になるコンピュータの設定を確認して、4-4を参考にMini100m/Mini300mの設定を行ってください。
- 4.プリンタの設定を行います。「第5章 プリント設定」5-4を参考にプリンタの設定を行ってください。この操作はMini100m/Mini300mで印刷を行いたいすべてのコンピュータで行う必要があります。

WindowsNTで印刷する場合の手順

印刷データを直接Mini100m/300mへ送信します。特定のコンピュータを常に起動しておく必要はありませんが、複数のコンピュータから印刷を実行すると、ポートが使用中となり印刷を拒否されることがあります。

- 1.「第2章 ハードウェアインストール」を参考に、Mini100m/300mの接続と設置を行なってください。
- 2.必要なソフトウェアのインストールを行ないます。「第3章 ソフトウェアインストール」3-1を参考に「SMART PRINT MANAGER」をインストールしてください(設定ユーティリティですので複数のコンピュータにインストールする必要はありません)。
- 3.ネットワークの設定が正しく行なわれているか確認します。「第4章 ネットワークの設定」4-3を参考にご使用になるコンピュータの設定を確認して、4-4を参考にMini100m/300mの設定を行なってください。

4. プリンタの設定を行ないます。「第5章 プリント設定」5-2を参考にプリンタの設定を行なってください。この操作はMini100m/300mで印刷を行ないたいすべてのコンピュータで行なう必要があります。

WindowsNTサーバを経由して印刷する場合の手順

印刷データをサーバが管理します。印刷データは一度サーバに記録されるため、複数のコンピュータから印刷を実行しても印刷を拒否されることはありませんが、Mini100m/300mを使用する場合必ずサーバマシンを起動しておく必要があります。

1. 「第2章 ハードウェアインストール」を参考に、Mini100m/300mの接続と設置を行なってください。
2. 必要なソフトウェアのインストールを行ないます。「第3章 ソフトウェアインストール」3-1を参考に「SMART PRINT MANAGER」をインストールしてください(設定ユーティリティですので複数のコンピュータにインストールする必要はありません)。
3. ネットワークの設定が正しく行なわれているか確認します。「第4章 ネットワークの設定」4-3を参考にご使用になるコンピュータの設定を確認して、4-4を参考にMini100m/300mの設定を行なってください。
4. プリンタの設定を行ないます。「第5章 プリント設定」5-3を参考にプリンタの設定を行なってください。この操作はMini100m/300mで印刷を行ないたいすべてのコンピュータで行なう必要があります。

NetWareサーバを経由して印刷する場合の手順

印刷データをサーバが管理します。印刷データは一度サーバに記録されるため、複数のコンピュータから印刷を実行しても印刷を拒否されることはありませんが、Mini100m/300mを使用する場合必ずサーバマシンを起動しておく必要があります。

1. 「第2章 ハードウェアインストール」を参考に、Mini100m/300mの接続と設置を行なってください。

- 2.必要なソフトウェアのインストールを行ないます。「第3章 ソフトウェアインストール」3-1を参考に「SMART PRINT MANAGER」をインストールしてください(設定ユーティリティですので複数のコンピュータにインストールする必要はありません)。
- 3.プリンタの設定を行ないます。「第5章 プリント設定」5-5を参考にプリンタの設定を行なってください。この操作はMini100m/300mで印刷を行ないたいすべてのコンピュータで行なう必要があります。

Macintoshから印刷する場合の手順

印刷データを直接Mini100m/300mへ送信します。特定のコンピュータを常に起動しておく必要はありませんが、複数のコンピュータから印刷を実行すると、ポートが使用中となり印刷を拒否されることがあります。

通常はMini100m/300mを特に設定しなくても印刷することが可能です。「第2章 ハードウェアインストール」を参考にMini100m/300mの接続と設置を行ない、「第5章 プリント設定」5-6を参考に設定を行なってください。

UNIXから印刷する場合の手順

印刷データを直接Mini100m/300mへ送信します。特定のコンピュータを常に起動しておく必要はありませんが、複数のコンピュータから印刷を実行すると、ポートが使用中となり印刷を拒否されることがあります。

- 1.「第2章 ハードウェアインストール」を参考に、Mini100m/300mの接続と設置を行なってください。
- 2.「第4章 ネットワーク設定」4-4を参考にTELNETでMini100m/300mの設定を行なってください。
- 3.「第5章 プリント設定」5-7を参考に設定を行なってください。

はじめに

1. 概要

Mini100m/300mはIEEE802.3/IEEE802.3u 10BASE-T/100BASE-TX規格に準拠した小型イーサネット・プリントサーバです。

Mini100mはプリンタの平行ポートに直接接続できるセントロニクス・平行ポートを1ポート、Mini300mはプリンタと平行ケーブルを使用して接続できる平行ポートを3ポートと、10BASE-T/100BASE-TXネットワーク接続用のRJ-45 STPポートを1ポート装備しています。

Mini100m/300mはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコル、NetBEUIプロトコル、AppleTalkプロトコルに対応しており、Windows95/98のみのピアツーピア・ネットワーク、WindowsNTやWindows2000、NetWareのサーバ/クライアント・ネットワーク、各種UNIX環境、Macintoshまでの幅広い環境で簡単にプリンタの共有を行うことが可能です。また、Windows対応の設定ユーティリティが付属しており簡単に設定を行うことが可能です。

注意

一部の双方向通信対応のプリンタでは正常に印刷できない場合があります。この場合はプリンタの双方向通信が無効になるように設定してください。設定方法についてはご使用のプリンタのマニュアルを参照してください。対応プリンタについての情報は弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp/>) をご覧ください。

2. 特長

IEEE802.3/IEEE802.3u 10BASE-T/100BASE-TX規格に準拠
10BASE-T/100BASE-TX接続用のRJ-45 STPポートを1ポート装備
プリンタに直接接続可能なセントロニクス・パラレルポートを1
ポート装備(Mini100m)

プリンタとパラレルケーブルで接続可能なパラレルポートを3ポ
ート装備(Mini300m)

TCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコル、NetBEUIプロトコル、
AppleTalkプロトコルに対応

10BASE-T/100BASE-TXのスイッチングハブ使用時、全二重接続
が可能

LEDによりプリントサーバのステータスの確認が可能

フラッシュROM搭載によりファームウェアのアップデートが可能
Windows95/98、Windows2000、WindowsNT、NetWare 3.X/4.X、
Mac OS(AppleTalk)、各種UNIXに対応

3. 梱包内容の確認

パッケージには、以下の付属品が含まれます。

Mini100m/300m本体

セットアップディスク 3枚

(LPR for Windows 1枚、SMART PRINT MANAGER 2枚)

AC電源アダプタ

このユーザズ・マニュアル

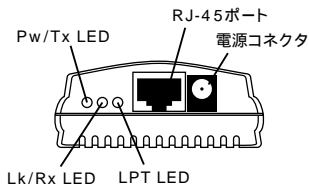
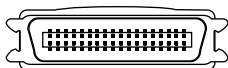
不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお
問い合わせください。

4. 各種の名称

Mini100m



パラレルポート



<パラレルポート>

プリンタに直接接続するセントロニクスパラレルポートです。

<Pw/Tx LED>

プリントサーバに電源が入るとグリーンに点灯、データ送信中に点滅します。

<Lk/Rx LED>

ネットワークとリンクすると点灯、データ受信中に点滅します。

<LPT LED>

プリンタポートへデータを送信中に点滅します。

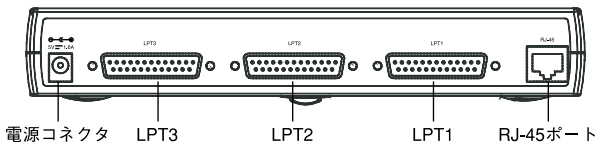
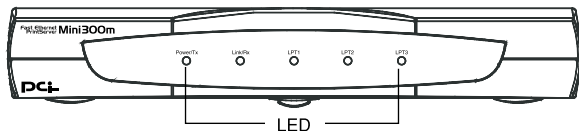
<RJ-45ポート>

ネットワークへ接続するためのツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。

<電源コネクタ>

AC電源アダプタを接続します。

Mini300m



< Pw/Tx LED >

プリントサーバに電源が入るとグリーンに点灯、データ送信中に点滅します。

< Lk/Rx LED >

ネットワークとリンクすると点灯、データ受信中に点滅します。

< LPT1~3 LED >

プリンタポートへデータを送信中に点滅します。

< RJ-45ポート >

ネットワークへ接続するためのツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。

< 電源コネクタ >

AC電源アダプタを接続します。

ハードウェアインストール

1. 設置場所について

プリントサーバを設置するには必ず以下の点をお守りください。ますようお願いいたします。

湿気の多い場所に設置しないでください。

チリやほこりの多い場所には設置しないでください。

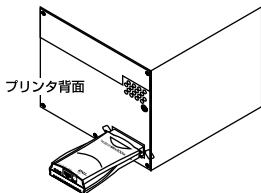
直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでください。

内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。

2. プリンタへの接続

Mini100m

プリンタの平行ポートにプリントサーバのセントロニクスポートを直接接続してください。プリンタ側の金具でプリントサーバを固定してください。

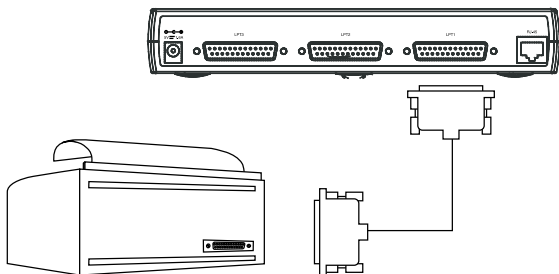


⚠ 注意

プリンタの形状によってはプリントサーバを直接プリンタに接続できない場合があります。この場合はオプションの接続ケーブル（弊社型番:PS-CB）を使用して接続してください。

Mini300m

プリンタのセントロニクスポートとプリントサーバの平行ポートを平行ケーブル(弊社型番:PS-CA)を使用して接続し、プリンタ側とプリントサーバ側をそれぞれ金具やネジで固定してください。

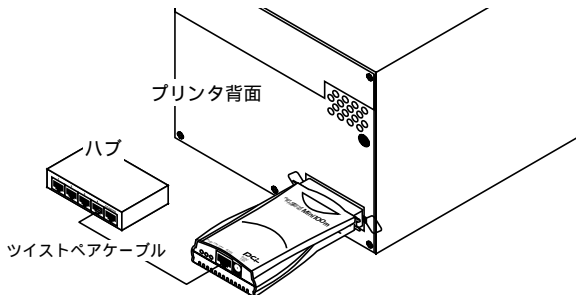


⚠ 注意

あまり長い平行ケーブルを使用すると、文字化けの原因となりますのでご注意ください。

3. ネットワークへの接続

1. ツイストペア・ストレート・ケーブルの一端をプリントサーバのRJ-45ポートに接続してください。
2. ツイストペア・ストレート・ケーブルのもう一端を10BASE-T/100BASE-TXハブの空いているRJ-45ポートに接続してください。



※Mini100m/300mをハブに接続する場合、接続するポートはハブの1番以降の通常ポートに接続してください。Uplinkポートやカスケード用ポートに接続すると認識できませんのでご注意ください。

4. 電源の接続

1. プリントサーバ側面の電源コネクタに付属のAC電源アダプタを接続します。
2. AC電源アダプタをAC100Vコンセントに接続します。
3. プリントサーバ上面のPw/Tx LEDが点灯することを確認してください。
- 4 電源が入るとプリントサーバは自動的に自己診断テストを実行します。

Mini100m

電源が入ると3つのLEDが数秒間点灯します。続いてLPT LEDが3回点滅する間、Pw/TxとLk/RxのLEDは点灯を続けます。

Mini300m

電源が入ると5つのLEDが数秒間点灯します。一旦Lk/RxのLEDが消灯してLPT1～3のLEDが3回点滅します。再度Lk/Rxが点灯するとLPT1からLPT3のLEDが順番に1回ずつ点滅する動作を3回繰り返します。

この通りにならない場合、プリントサーバに何か問題があると考えられますので、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

注意

AC電源アダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のAC電源アダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のAC電源アダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

ソフトウェアインストール

Mini100m/300mには2種類のソフトウェアディスクが添付されています。それぞれの用途は以下の通りですので、ご使用の環境に合わせてインストールを行ってください。

SMART PRINT MANAGER

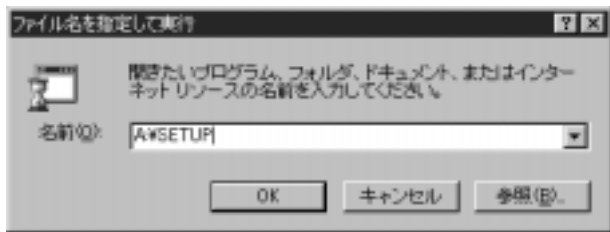
Windows98/95、NT、2000においてMini100m/300mの設定を行うソフトウェアです。すべてのコンピュータにインストールする必要はありません。ネットワークの管理を行っているコンピュータにのみインストールしてください。インストールする場合「3-1」へ

LPR for Windows

Windows95/98だけのネットワーク環境で、TCP/IPプロトコルを使用して印刷を行う場合に使用します。Mini100m/300mで印刷を行うコンピュータすべてにインストールする必要があります。IPX/SPX、NetBEUIを使って印刷する場合はインストールする必要はありません。インストールする場合「3-2」へ

1. SMART PRINT MANAGERのインストール

1. フロッピードライブに「SMART PRINT MANAGER Disk1」ラベルのついたフロッピーをセットしてください。
2. [スタート] [ファイル名を指定して実行]を選択して、[名前]に「A:¥SETUP(フロッピードライブがA:の場合)」と入力して[OK]をクリックしてください。



3. ディスクを読み込んだ後にインストールが開始されます。インストールが終了すると[スタート] [プログラム]の中に「SMART PRINT MANAGER」が作成されます。

※「SMART PRINT MANAGER」を使用する場合は、IPXプロトコルが必要になります。Windows 95/98の場合「IPX/SPX互換プロトコル」を、NTの場合は「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」を追加してください。詳しくは「第4章 ネットワークの設定」の「IPX/SPXプロトコルの追加」をご覧ください。

SMART PRINT MANAGERのアンインストール

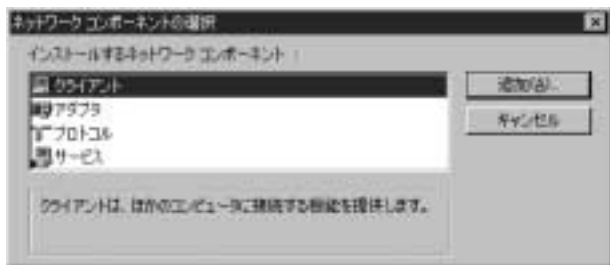
[スタート] [プログラム] [SMART PRINT MANAGER]を開きます。「unInstall 1.03J」を選択してください。プログラムのアンインストールが開始されます。

2. LPR for Windowsのインストール

1[スタート] [設定] [コントロールパネル]を開いて「ネットワーク」を開いてください。



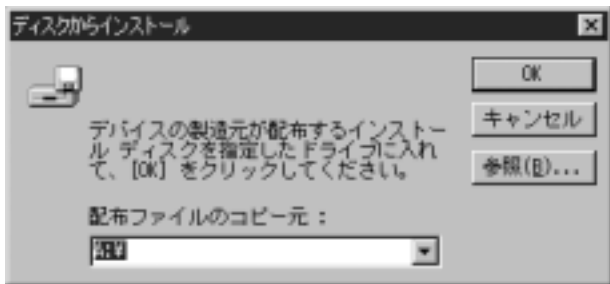
- 2[追加]をクリックして[クライアント]を選択して[追加]をクリックしてください。



- 3.「ネットワーククライアントの選択」ウインドウが表示されるので、フロッピードライブに「LPR for Windows」ラベルのついたフロッピーをセットして[ディスク使用]をクリックしてください。



4. 「配布ファイルのコピー元」に「A:¥(フロッピードライブがA:の場合)」と入力して[OK]をクリックしてください。



5. 「TCP/IPネットワーク印刷」が表示されるので[OK]をクリックしてください。インストールが開始されます。



6. インストール終了後は「現在のネットワーク構成」の中に「TCP/IP ネットワーク印刷」が追加されます。



ネットワークの設定

「Mini100m/300m」はTCP/IPとIPX/SPX(NetWare) NetBEUI(ネットビューイ)プロトコルのネットワーク環境にて使用できます。そのためプリントサーバを使用するには、必要なプロトコルがインストールされている必要があります。以下の説明を参考に必要な物が入っているか確認してください。設定の詳細については付録C「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。すでにLAN環境が構築されている場合は「第5章 プリント設定」をご覧ください。

1. Windows95/98ネットワーク

NetBEUIプロトコルを追加する……………4-1-a

TCP/IPプロトコルを追加する……………4-1-b

IPX/SPXプロトコルを追加する……………4-1-c

WindowsNTについては 4-2 をご覧ください。

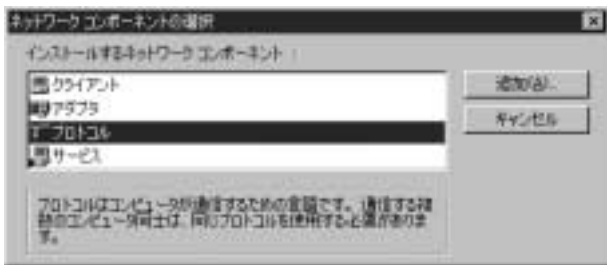
Mini100m/300mの設定については 4-3 をご覧ください。

1-a. NetBEUIプロトコルを追加する

1[スタート] [設定] [コントロールパネル]を開いて「ネットワーク」を開いてください。



- 2[追加]をクリックして[プロトコル]を選択して[追加]をクリックしてください。



- 3.「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウで「製造元」に「Microsoft」を選択して、「NetBEUI」を選択して[OK]をクリックしてください。



4.これで「NetBEUIプロトコル」が追加されます。



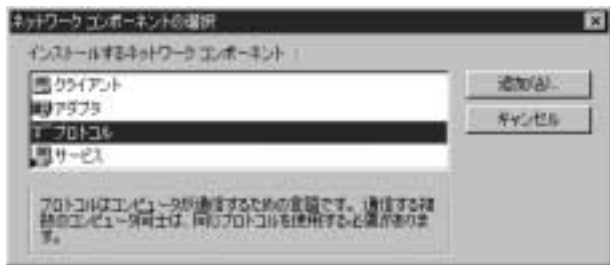
※設定の詳細については付録Cの「ネットワーク設定ガイド」を参照ください。

1-b. TCP/IPプロトコルを追加する

1 [スタート] [設定] [コントロールパネル] を開いて「ネットワーク」を開いてください。



- 2[追加]ボタンをクリックして[プロトコル]を選択して[追加]ボタンをクリックしてください。



- 3.「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウで「製造元」に「Microsoft」を選択して、「TCP/IP」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



4.これで「TCP/IPプロトコル」が追加されます。



※設定の詳細については付録Cの「ネットワーク設定ガイド」を参照ください。

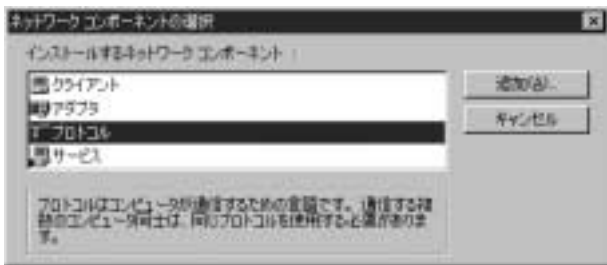
1-c. IPX/SPXプロトコルを追加する

IPXプロトコルは「NetWare」環境で使用する場合と、「SMART PRINT MANAGER」を起動する際に使用します。「SMART PRINT MANAGER」をインストールしないコンピュータには特に追加する必要はありません。

1[スタート] [設定] [コントロールパネル]を開いて「ネットワーク」を開いてください。



- 2[追加]ボタンをクリックして「プロトコル」を選択して[追加]ボタンをクリックしてください。



- 3.「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウで「製造元」に「Microsoft」を選択して、「IPX/SPX互換プロトコル」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



4.これで「IPX/SPXプロトコル」が追加されます。



※IPX/SPXプロトコルが入っているだけではMini100m/300mを正常に認識できない場合があります。その場合は「NetWareネットワーククライアント」を追加してください。手順は【コントロールパネル】→「ネットワーク」を開いて、【追加】ボタンをクリックして【クライアント】を選択して【追加】ボタンをクリックしてください。「製造元」から「Microsoft」を選んで「NetWareネットワーククライアント」を選択して【OK】ボタンをクリックして追加してください。

2. Windows2000ネットワーク

NetBEUIプロトコルを追加する …………… 4-2-a

TCP/IPプロトコルを追加する …………… 4-2-b

IPX/SPXプロトコルを追加する …………… 4-2-c

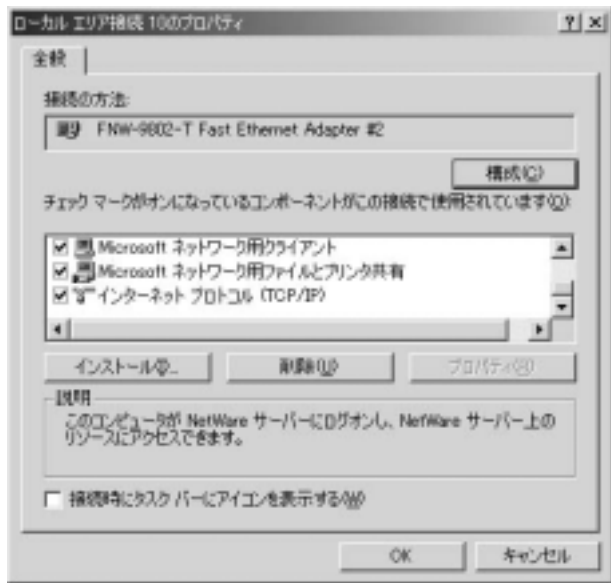
プリントサーバにIPアドレスを設定する方法は 4-3 をご覧ください

2-a. NetBEUIプロトコルを使用する場合

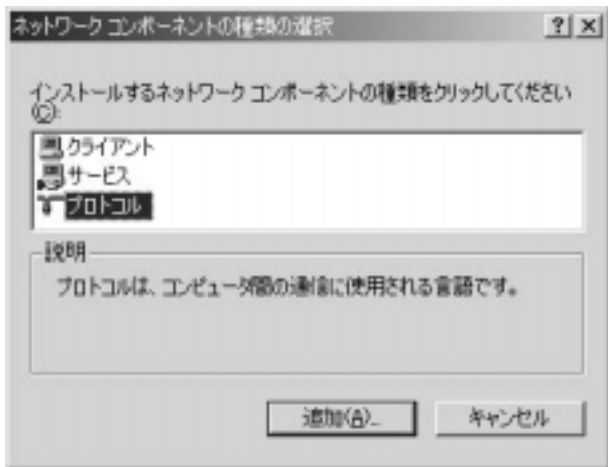
1 [スタート] [設定] 「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



- 2.LAN接続に使用している「ローカルエリア接続**」のアイコン上で右クリックして[プロパティ]を選択してください。ネットワーク設定のウィンドウが開きます。



- 3.「NetBEUIプロトコル」が入っていない場合、[インストール]ボタンをクリックして[プロトコル]を選択して[追加]ボタンをクリックしてください。



- 4.一覧から「NetBEUIプロトコル」を選択して[OK]ボタンをクリックするとNetBEUIが追加されます。[閉じる]ボタンをクリックしてください。



2-b. TCP/IPプロトコルを使用する場合

TCP/IPで設定を行う場合、TCP/IPで正しくネットワークの設定が行われている必要があります。添付の「ネットワーク設定マニュアル」を参考に、TCP/IPでの設定が正しく行われているか確認してください。

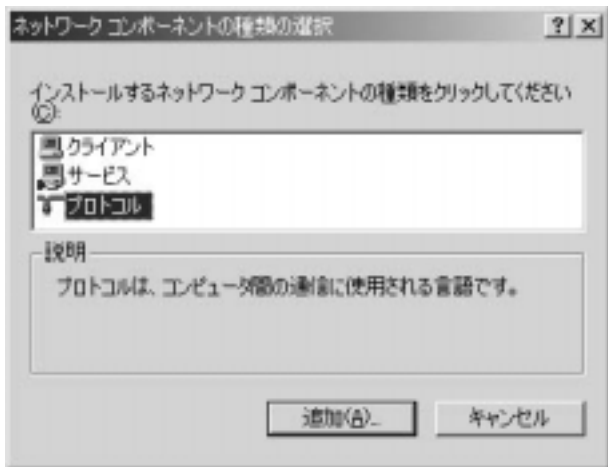
- 1 [スタート] [設定] 「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



2.LAN接続に使用している「ローカルエリア接続**」のアイコン上で右クリックして[プロパティ]を選択してください。ネットワーク設定のウィンドウが開きます。



- 3.「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が入っていない場合、
[インストール]ボタンをクリックして[プロトコル]を選択して
[追加]ボタンをクリックしてください。



- 4.一覧から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して [OK] ボタンをクリックするとTCP/IPが追加されます。[閉じる] ボタンをクリックしてください。



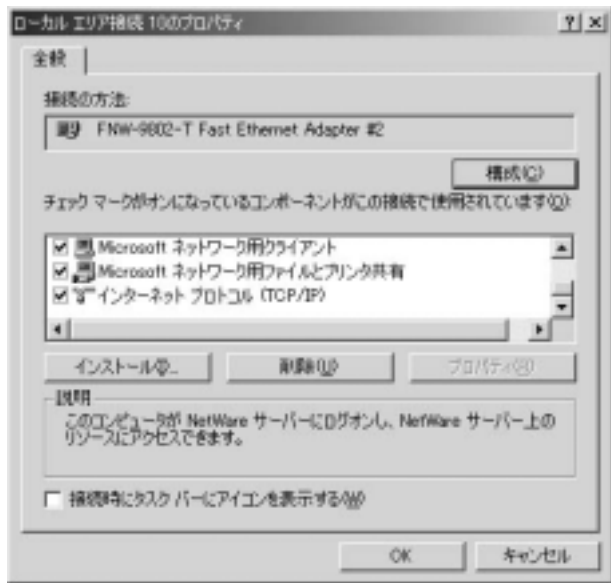
- 5.IPアドレスの設定を行う場合は「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックして[プロパティ] ボタンをクリックしてください。IP設定の詳細については、巻末の「ネットワーク設定ガイド」をご参照ください。

2-c. IPX/SPXプロトコルを使用する場合

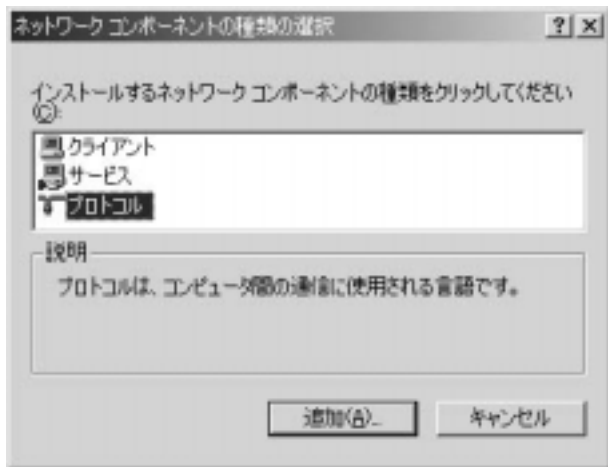
- 1 [スタート] [設定] 「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



- 2.LAN接続に使用している「ローカルエリア接続 **」のアイコン上で右クリックして[プロパティ]を選択してください。ネットワーク設定のウィンドウが開きます。



- 3.「NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポート」が入っていない場合、[インストール] ボタンをクリックして[プロトコル] を選択して[追加] ボタンをクリックしてください。



- 4.一覧から「NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポート」を選択して[OK]ボタンをクリックすると「NWLink NetBIOS」と「NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポート」が追加されます。
[閉じる]ボタンをクリックしてください。



- 5.「NetWare用クライアントサービス」を追加する場合は[インストール]ボタンをクリックして[クライアント]を選択して[追加]ボタンをクリックして追加してください。

3. WindowsNTネットワーク

NetBEUIプロトコルを追加する ……………4-3-a

TCP/IPプロトコルを追加する ……………4-3-b

IPX/SPXプロトコルを追加する ……………4-3-c

プリントサーバにIPアドレスを設定する方法は 4-3 をご覧ください。

3-a. NetBEUIプロトコルを使用する場合

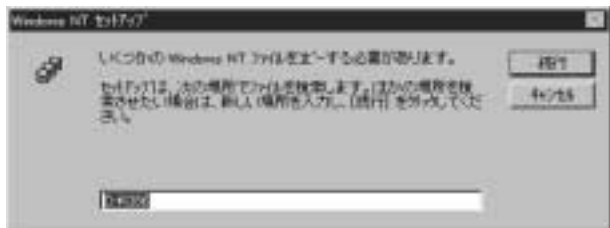
1 [マイコンピュータ] [コントロールパネル] [ネットワーク] と選択してください。



- 2.「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら[プロトコル]タブをクリックして「NetBEUI」が入っていない場合、[追加]ボタンをクリックして「NetBEUIプロトコル」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



- 3.NTのファイルコピーウィンドウが表示されます。NTのCD-ROMをセットしたドライブと場所を指定してください(CD-ROMがD:の場合「D:¥1386」となります)。



4.「プロトコル」にNetBEUIが追加されます。



5.コンピュータの再起動の確認画面が表示されるので[はい]を選択しコンピュータを再起動してください。

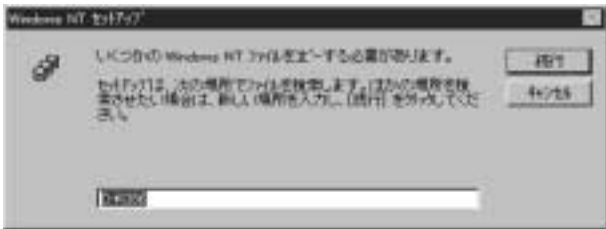
3-b. TCP/IPプロトコルを使用する場合

TCP/IPで設定を行う場合、TCP/IPで正しくネットワークの設定が行われている必要があります。付録Cの「ネットワーク設定ガイド」を参考に、TCP/IPでの設定が正しく行われているか確認をしてください。

- 1[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [ネットワーク]と選択してください。
- 2「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら[プロトコル]タブをクリックして「TCP/IP」が入っていない場合、「追加」ボタンをクリックして「TCP/IPプロトコル」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



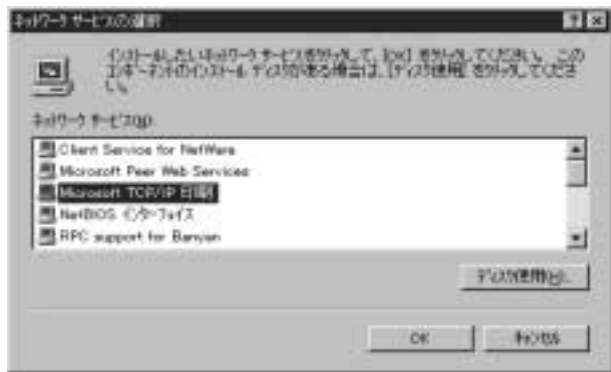
- 3.NTのファイルコピーウィンドウが表示されます。NTのCD-ROMをセットしたドライブと場所を指定してください(CD-ROMがD:の場合「D:¥1386」となります)。



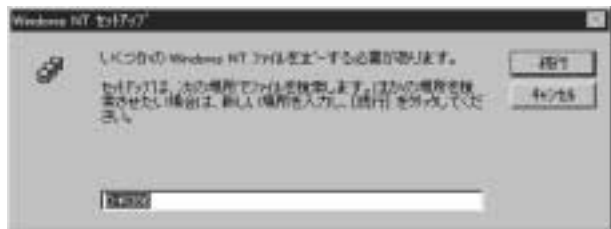
- 4.「プロトコル」にTCP/IPが追加されます。



5. 続いて「TCP/IP印刷」を追加します。「サービス」タブをクリックして「Microsoft TCP/IP印刷」が入っていることを確認してください。入っていない場合[追加]ボタンをクリックしてください。
6. ネットワークサービスの中から「Microsoft TCP/IP印刷」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



7. NTのファイルコピーウィンドウが表示されます。NTのCD-ROMをセットしたドライブと場所を指定してください(CD-ROMがD:の場合「D:¥1386」となります)。



8. 「サービス」に「Microsoft TCP/IP印刷」が追加されます。



9. コンピュータの再起動の確認の画面が表示されるので[はい]を選択しコンピュータを再起動してください。
10. TCP/IPで使用するにはプリントサーバにIPアドレスを設定する必要があります。付録Cの「ネットワーク設定ガイド」を参考にプリントサーバにIPアドレスを設定してください。

3-c. IPX/SPXプロトコルを使用する場合

1. [マイコンピュータ] [コントロールパネル] 「ネットワーク」と選択してください。
2. 「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら[プロトコル]タブをクリックして「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は[追加]ボタンをクリックして「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」を追加してください。プロトコルの追加が終了したら[閉じる]ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。再起動後に以下の手順を続行してください。



3. 「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」を選択し[プロパティ] ボタンをクリックしてください。
4. 使用するネットワークアダプタと[フレーム種類の手動選択] を選択して[追加] ボタンをクリックしてください。



- 5 [フレームの種類]で「Ethernet 802.2」を選択し [ネットワーク番号]には任意の8桁の16進数字を入力してください。 [追加]ボタンをクリックしてください。



- 6 [OK]ボタンをクリックしネットワークの画面に戻ったら [閉じる]ボタンをクリックしてください。コンピュータの再起動の確認の画面が表示されるので [はい]を選択しコンピュータを再起動してください。

4. Mini 100m/300mの設定を行う

ここではMini100m/300mにワークグループ名やIPアドレスの設定を行います。この作業はMini100m/300mに対する設定ですので1回行うだけで結構です。

設定には「SMART PRINT MANAGER」を使う方法(4-4-a、4-4-b)と、TELNETを使用する方法(4-4-c)の2通りあります。ご使用の環境に合わせて選択してください。

※「SMART PRINT MANAGER」の起動には「NetWareネットワーククライアント(NTの場合「ClientService for NetWare」、Windows2000の場合「NetWare用クライアントサービス」)とIPXプロトコルが必要になります。ネットワーク設定に入っていない場合は、第4章を参考に追加してください。

- Mini100m/300mにワークグループ名を設定する ……4-3-a
- Mini100m/300mにIPアドレスを設定する ……4-3-b
- TELNETを使用した設定手順について ……4-3-c

4-a. Mini 100m/300mにワークグループ名を設定する

1. Mini100m/300mにワークグループを設定します。[スタート] [プログラム] [SMART PRINT MANAGER]を選択して「SMART PRINT MANAGER」を起動してください。プログラムが起動すると「サーバ名」にMini100m/300mのサーバ名が表示されます。



2. 設定するMini100m/300mを選択して「NetBEUIプロトコル」をクリックしてください。「NetBEUIの環境設定」ウインドウが表示されます。「ワークグループ」に使用しているネットワークのワークグループ名を入力して[OK]をクリックしてください。



※使用中のネットワークのワークグループ名を調べる方法は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開いて「ネットワーク」を開いて[ユーザー情報]を選択することで確認できます。



- 3 [環境設定を保存] をクリックすると、設定内容を書き込むか確認するウィンドウが開きますので、[はい] をクリックすると設定内容をMini100m/300mへ保存します。



4-b. Mini 100m/300mにIPアドレスを設定する

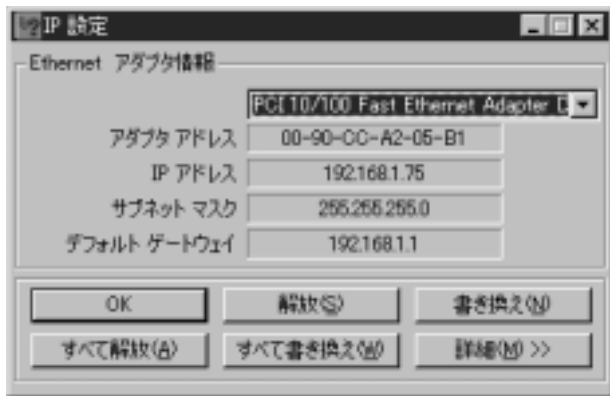
1. Mini 100m/300mにIPアドレスを設定します。[スタート] [プログラム] [SMART PRINT MANAGER]を選択して「SMART PRINT MANAGER」を起動してください。プログラムが起動すると [サーバ名]にMini 100m/300mが表示されます。



2. 設定するMini100m/300mを選択して[TCP/IPプロトコル]をクリックしてください。[TCP/IPの環境設定]ウインドウが表示されます。Mini100m/300mに割り当てるIPアドレスやサブネットマスクを設定して[OK]ボタンをクリックしてください。なお、下の設定はあくまで例ですので、実際の設定はご使用のネットワーク環境に合わせて設定してください。IPアドレスの詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。



使用中のコンピュータのIPアドレスを調べる方法は、[スタート] [ファイル名を指定して実行]を開いて「WINIPCFG(NTの場合「IPCONFIG」)」と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。「PPPアダプタ」になっている場合はクリックしてLANカードの名前に変更してください。「IPアドレス」に表示されているのが、そのコンピュータに割り当てられているIPアドレスです。



3. 「環境設定を保存」をクリックすると、設定内容を書き込むか確認するウィンドウが開きますので、[はい]をクリックすると設定内容をMini100m/300mへ保存します。



4-c. TELNETを使って設定する

Mini100m/300mはTELNETを使用して設定を行なうことができます。Windows95/98/NTはもちろん、Macintosh、UNIXからも設定を行なうことが可能です。

TELNETで設定するためにはご使用のコンピュータにIPアドレスが割り当てられている必要があります。使用しているPCのIPアドレスをMini100m/300mに合わせる方法と、「arp」コマンドでエントリを追加してアクセスする方法の二通りの手順があります。

Mini100m/300mの工場出荷時のIPアドレスは「1.1.1.1」になります。

arpコマンドを使用したTELNETアクセス

arpコマンドで一時的にIPアドレスのエントリを追加して、TELNETでアクセスして設定内容を変更する手順です。

1[スタート]メニューの[プログラム]から[MS-DOSプロンプト]を選択してください(NTの場合「コマンドプロンプト」を選択してください)。

2.arpエントリにプリントサーバのIPアドレスを追加するためにコマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。ノードアドレスはプリントサーバ本体底面のシールに印刷されている番号に00-90-CCを足した数字になります。例えば「PS-BDFE32」の場合「00-90-CC-BD-FE-32」となります。

arp -s Mini100m/300mに設定したい IPアドレス ノードアドレス

例:arp -s 192.168.1.224 00-90-CC-BD-FE-32

※arpコマンドは一度実行するとMini100m/300mの設定を変更するまで再度実行することができません。再度arpコマンドを実行できる環境にするには、工場出荷時の状態に戻していただくか「トラブルシューティング」の手順でTCP/IPの設定を変更してください。

3. pingコマンドを実行し、プリントサーバが正常に応答するか確認してください。正常な場合「Reply from 192.168.1.224:」というメッセージが4回返ってきます。

例: ping 192.168.1.224

4. 以下のコマンドを実行してください。IPアドレスには手順2で指定したIPアドレスを入力してください。「Telnet Console」が起動します。

例 : telnet 192.168.1.224



5. パスワードの入力になります。出荷時の状態ではパスワードは設定されておりませんので「Enter」を押してください。メインメニューが表示されます。

クライアントのIPを変更してTELNETアクセス

アクセスしているPCのIPアドレスを変更してTELNETアクセスして設定を変更する手順です。

- 1[コントロールパネル]「ネットワーク」を開いてください。
- 2.「現在のネットワーク構成」の中の「TCP/IP LANカードの名前」を選択して「プロパティ」を開いてください(NTの場合「プロトコル」の中の「TCP/IP」のプロパティを開いてください)。
- 3.IPアドレスを「1.1.1.2」に変更して、サブネットマスクを「255.0.0.0」に変更してください。

Windows 95/98の場合



Windows NTの場合



- 4[スタート] [ファイル名を指定して実行]を選択してください。
「ファイル名」に「TELNET」と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。



- 5.パスワードの入力になります。出荷時の状態ではパスワードは設定されておりませんので「Enter」を押してください。メインメニューが表示されます。

TELNETメニュー構成

TELNETでMini100m/300mにアクセスすると、下の画面が表示されます。メインメニューから選択したい項目の数字を入力することでメニューを移動します。「0(ゼロ)」を選択することで一つ前のメニューに戻れます。

Main Menu



```
TELNET - 192.168.1.29
MFC: 08.90.08.BD.FE.32

#####
* Welcome to Fuji Print Server *
* Telnet Console *
#####

Server Name : PS-BDFE32
Server Model : DF-301P
F/W Version : 1.34
MAC Address : 08 90 08 BD FE 32
Uptime : 0 days, 00:53:41

Please Enter Password:

[Main Menu]
1 - Server Configuration
2 - Port Configuration
3 - TCP/IP Configuration
4 - AppleTalk Configuration
5 - Display Information
6 - Tools
7 - Save Configuration
0 - Quit

Enter Selection: █
```

< Server Configuration >

Mini100m/300mの設定情報を表示・変更します。

< Port Configuration >

Mini100m/300mのポート設定情報を表示・変更します。

< TCP/IP Configuration >

Mini100m/300mのTCP/IP設定情報を表示・変更します。

< AppleTalk Configuration >

Mini100m/300mのAppleTalk設定情報を表示・変更します。

< Display Information >

Mini100m/300mの現在の設定情報を表示します。

< Tools >

工場出荷状態に戻したりファームウェアをバージョンアップする際に使用します。

< Save Configuration >

設定内容を保存します。

< Quit >

TELNET接続を終了します。

Server Configuration



< Server Name >

Mini100m/300mのサーバ名の情報です

< Location >

Mini100m/300mの設置場所の情報です

< Admin Contact >

管理者の情報です

< Change Password >

Mini100m/300mにログインする際のパスワードを設定します

Port Configuration



```
Mini100m - 192.168.1.20
1 - Server Name      (PS-EDF771)
2 - Location         (<)
3 - Admin Contact   (<)
4 - Change Password
0 - Return to Main Menu

Enter Selection: 0

[Main Menu]
1 - Server Configuration
2 - Port Configuration
3 - TCP/IP Configuration
4 - AwaleTalk Configuration
0 - Device Information
0 - Tools
7 - Save Configuration
0 - Quit

Enter Selection: 2

[Port Configuration]
1 - Port 1 (LPT1)
0 - Return to Main Menu

Enter Selection: █
```

< Port 1 >

Mini100m/300mの平行ポートの情報です。

選択すると以下のメニューが表示されます



< Port Name >

プリンタポートの名前の情報です

< Description >

プリンタポートのコメントの情報です

< Speed >

プリンタポートへのデータ転送速度を変更します

< P.JL Printer >

通常は「NO」のままご使用ください。

TCP/IP Configuration



< IP Address >

Mini100m/300mのIPアドレスを設定します

< Subnet Mask >

Mini100m/300mのサブネットマスクを設定します

< Default Gateway >

Mini100m/300mのゲートウェイアドレスを設定します

< SNMP Community >

SNMPコミュニティの設定をします

< SNMP Traps >

SNMPトラップの設定をします

< IP Assignment Methods >

IPアドレスの取得方法を設定します

AppleTalk Configuration



<Zone Name>

Mini100m/300mのゾーンの設定をします

Display Information



< Display Configuration >

現在の設定内容を表示します

< Display Port Status >

プリンタポートの現在の状態を表示します

Tools



< Reset >

ハードウェアリセットを実行します(設定内容は保持されます)

< Factory Reset >

工場出荷時の状態に戻ります(設定内容は消去されます)

< Download Firmware >

Mini100m/300mのファームウェアを更新します

Save Configuration



選択すると保存するかどうかの入力待ちになります。

<Y>

設定内容をMini100m/300mに保存します。(新しい設定内容が有効になります)

<N>

設定内容をMini100m/300mに保存しません。(設定内容は破棄されます)

上記の設定は「SMART PRINT MANAGER」上からも実行することができます。

プリント設定

プ リントサーバはNetWare、WindowsNT、Windows95/98からの印刷に対応しており、その他UNIXやMacintoshなどさまざまなネットワーク環境での使用が可能です。すでにネットワークの設定が完了していることを前提にしていますので、まだネットワークの設定が完了していない場合、「第4章」を参考に設定を行ってください。

ご利用のネットワーク環境とプロトコルに合わせがインストール方法を選んでください。

- 1.Windows95/98から印刷する5-1へ
- 2.WindowsNTから印刷する5-2へ
- 3.WindowsNTサーバ経由で印刷する5-3へ
- 4.Windows2000から印刷する5-4へ
- 5.NetWareサーバ経由で印刷する5-5へ
- 6.Macintoshから印刷する5-6へ
- 7.UNIXから印刷する5-7へ

「1・2・4」の設定は、印刷データを直接Mini100m/300mへ送信します。特定のコンピュータを常に起動しておく必要はありませんが、複数のコンピュータから印刷を実行すると、ポートが使用中となり印刷を拒否されることがあります。

「3・5」の設定は、印刷データをサーバ（もしくはサーバの役割をするコンピュータ）が管理します。印刷データは一度サーバに記録されるため、複数のコンピュータから印刷を実行しても印刷を拒否されることはありませんが、Mini100m/300mを使用する場合必ずサーバマシンを起動しておく必要があります。

どちらも一長一短ですので、ご使用のネットワーク環境に合わせて選択してください。

1.Windows95/98から印刷する

ネットワーク上にWindows95/98のコンピュータしか存在しない、または印刷にNetWareやWindowsNTのサーバを使用したくない場合の設定手順について解説します。この場合、印刷データは印刷しているコンピュータにスプールされるので、複数のコンピュータから同時に印刷を実行すると印刷できない場合があります。

NetBEUIプロトコルで設定したい……………5-1-a

TCP/IPプロトコルで設定したい……………5-1-b

1-a. NetBEUIプロトコルで設定する

1. [スタート] [設定] [プリンタ]を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開くので[次へ]をクリックしてください。
2. 接続先の確認画面が表示されるので、「ネットワークプリンタ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



3. ネットワークパスの設定画面が表示されるので、[参照]をクリックしてください。



- 4[プリンタの参照]ウインドウが表示されます。「PS-*****」と表示されているのがMini100m/300mです。先頭の[+]をクリックすると、その下に「PS-*****-P1」という表示が現れるので、選択して[OK]をクリックしてください。



プリントサーバが表示されない場合、直接バスを指定することが可能です。「ネットワークバス」に「¥¥PS-*****¥PS-*****-P1」と入力してください（「*****」には出荷時にはMini100m固有の番号が入ります。例では「BDFE32」なので「¥¥PS-BDFE32¥PS-BDFE32-P1」となります）。表示されなくてもバスを正しく設定すれば使用することは可能です。Mini300mの場合は3ポートありますので、出荷時では「LPT1」が「P1」、 「LPT2」が「P2」、 「LPT3」が「P3」になりますので、最後の「P*」の番号で出力先のポートを指定するようにしてください。

5. ネットワークパスに先ほど表示された情報が表示されます。[次へ]をクリックしてください。



※「4」でプリントサーバが表示されない場合、直接パスを指定することが可能です。「ネットワークパス」に「*PS-*****\PS-*****-P1」と入力してください（「*****」にはMini100m/300m固有の番号が入ります。例では「BDFE32」なので「*PS-BDFE32\PS-BDFE32-P1」となります）。表示されなくてもパスを正しく設定すれば使用することは可能です。

6. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ]をクリックしてください。



※プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

7. プリンタ名の設定ウインドウが表示されます。ここに入力されている名前がWindows上で表示されます。特に変更しない場合はそのまま[次へ]をクリックしてください。



8. テスト印字を行うか確認されますので[はい]を選択して[完了]をクリックしてください。テストページが出力されれば、設定は完了です。



印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

1-b. TCP/IPプロトコルで設定する

すでに 1~5 の設定を一度行っている場合、「6」のプリンタの追加から作業を行ってください。なお、1~5の設定はMini100m/300mへ印刷を実行するコンピュータで1回は設定する必要があります。

1[スタート] [設定] [コントロールパネル]を開いて「ネットワーク」を開いてください。「現在のネットワーク構成」の中の[TCP/IPネットワーク印刷]を選択して[プロパティ]をクリックしてください。



※[TCP/IPネットワーク印刷(LPR for Windows)]をインストールされていない場合は、「第3章 ソフトウェアインストール」の 3-2 をご覧ください、必要なソフトウェアをインストールしてください。

2.「TCP/IPネットワーク印刷のプロパティ」が開きますので「ポート」の「追加」をクリックしてください。



3.「ポートの追加ウィンドウ」が開ききますので、「IPアドレス」に「SMART PRINT MANAGER」でMini100mに設定したIPアドレスを入力して、「ポート名」に「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で確認できる「ポート名」を入力してください。出荷時は「サーバ名」に「-P1」を追加した値が設定されています。例では「PS-BDFE32」なので「PS-BDFE32-P1」と設定されています。Mini300mの場合は3ポートありますので、ポート1が「P1」、ポート2が「P2」、ポート3が「P3」になります。例えばポート2に接続している場合は「PS-BDFE32-P2」と設定します。



※サーバ名とポート名は設定が別々になっております。「SMART PRINT MANAGER」上でサーバ名だけ変更してもポート名はデフォルトのままとなりますのでご注意ください。ポート名の設定は「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で行います。

4.ポートリストの中に「3」で設定した値が入力されます。[OK]で「TCP/IPネットワーク印刷のプロパティ」ウインドウを閉じてください。



5[OK]でネットワークを閉じます。

- 6[スタート] [設定] 「プリンタ」を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開くので[次へ]をクリックしてください。



7. 接続先の確認画面が表示されるので、「ネットワークプリンタ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



8. ネットワークパスの設定画面が表示されるので、[参照] をクリックしてください。



- 9.「プリンタの参照」ウインドウが表示されます。「ネットワーク全体」の先頭の「+」をクリックすると、「Print Servers-TCP/IP LPR」が表示されます。「Print Servers-TCP/IP LPR」の先頭の「+」をクリックするとMini100m/300mに設定したIPアドレスが表示されますので、先頭の「+」をクリックしてください。「3」で設定したポート名が表示されますので、選択して[OK]をクリックしてください。



10. ネットワークパスに先ほど表示された情報が表示されます。[次へ]をクリックしてください。



11. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ]をクリックしてください。



※プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

12. プリント名の設定ウインドウが表示されます。ここに入力されている名前がWindows上で表示されます。特に変更しない場合はそのまま[次へ]をクリックしてください。



13. テスト印字を行うか確認されますので[はい]を選択して[完了]をクリックしてください。テストページが出力されれば、設定は完了です。



印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

2. WindowsNTから印刷する

WindowsNT環境でのプリントサーバの設定は以下の2種類があります。ただし、印刷データは印刷しているコンピュータにスプールされるので、複数のコンピュータから同時に印刷を実行すると印刷できない場合があります。

NetBEUIで設定する……………5-2-aへ

TCP/IPで設定する……………5-2-bへ

2-a. NetBEUIで設定する

- 1 [スタート] [設定] 「プリンタ」を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開きます。「ネットワークプリンタサーバ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



2. 「プリンタの接続」ウインドウが開きますので「Microsoft Windows Network」をダブルクリックしてワークグループ名をダブルクリックすると、その下にネットワーク上の機器が表示されます。「PS-*****」と表示されるプリントサーバをダブルクリックすると「PS-*****-P1」と表示されますので、選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



※プリントサーバが表示されない場合、直接バスを指定することが可能です。「プリンタ」に「¥¥PS*****¥PS*****-P1」と入力してください（「*****」には出荷時にはMini100m固有の番号が入ります。例では「BDFE32」なので「¥¥PS-BDFE32¥PS-BDFE32-P1」となります）。表示されなくてもバスを正しく設定すれば使用することは可能です。Mini300mの場合は3ポートありますので、出荷時では「LPT1」が「P1」、「LPT2」が「P2」、「LPT3」が「P3」になりますので、最後の「P*」の番号で出力先のポートを指定するようにしてください。

3. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ]をクリックしてください。



※プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

4. 「プリンタ」ウインドウに先ほど追加したドライバが追加されます。プロパティを開いて「全般」の「テストページの印刷」ボタンをクリックして、テストページが印刷されたら完了です。

印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

2-b. TCP/IPで設定する

- 1[スタート] [設定] 「プリンタ」を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開きます。「このコンピュータ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



- 2.出力先のポートを指定するウィンドウが表示されます。「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。



※すでに次の3~4の設定を一度行っている場合、「2」のポートリストの中に「4」で追加したポートが表示されるので、そちらをチェックして「5」へ進んでください。

- 3.「プリンタポート」ウィンドウが表示されます。「利用可能なプリンタポート」から「LPR Port」を選択して「新しいポート」ボタンをクリックしてください。



※「LPR Port」が表示されない場合、「TCP/IP印刷」サービスが追加されていないことが考えられます。「第4章 ネットワークの設定」の 4-2-b を参考にサービスを追加してください。

4. 「LPR互換プリンタの追加」ウィンドウが表示されます。「lpdを提供している・・・」にMini100mに設定したIPアドレスを入力し、「サーバーのプリンタ名・・・」に「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で確認できる「ポート名」を入力してください。出荷時は「サーバ名」に「-P1」を追加した値が設定されています。例では「PS-BDFE32」なので「PS-BDFE32-P1」と設定されておりますので、これがキュー名になります。Mini300mの場合は3ポートありますので、ポート1が「P1」、ポート2が「P2」、ポート3が「P3」になります。例えばポート2に接続している場合は「PS-BDFE32-P2」と設定します。



※サーバ名とポート名は設定が別々になっております。「SMART PRINT MANAGER」上でサーバ名だけ変更してもポート名はデフォルトのままとなりますのでご注意ください。ポート名の設定は「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で行います。

5. 「プリンタポート」に「4」で設定した内容のポートが追加されます。チェックされていることを確認して[次へ]をクリックしてください。



6. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ]をクリックしてください。



7. プリンタ名を確認するウィンドウが表示されます。そのままではよければ[次へ]をクリックしてください(ここで設定した名前が「プリンタ」の中で表示されます)。



- 8.共有設定の確認画面になります。他のコンピュータからこのコンピュータ経由で印刷させる場合は「共有する」にチェックしてください。



- 9.テスト印刷を実行するか確認するウィンドウが表示されます。[はい]をチェックして[完了]をクリックしてください。



- 10.テストページが印刷されれば設定は完了です。

印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

3. WindowsNTサーバ経由で印刷する

WindowsNTを經由してプリントサーバの設定をする手順は以下の2種類があります。

この場合、印刷ジョブ(印刷データ)は一度NTにスプールされ、NTが印刷ジョブの管理を行います。クライアントはMini100m/300mが使用中かどうか気にせず印刷を実行することができます。クライアントからの設定手順は5-3-cをご覧ください。

サーバの設定

NetBEUIで設定する 5-3-aへ

TCP/IPで設定する 5-3-bへ

クライアントの設定

Windows95/98クライアントの設定手順 5-3-cへ

3-a. NetBEUIで設定する

- 1 [スタート] [設定] 「プリンタ」を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開きます。「ネットワークプリンタサーバ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



2. 「プリンタの接続」ウインドウが開きますので「Microsoft Windows Network」をダブルクリックしてワークグループ名をダブルクリックすると、その下にネットワーク上の機器が表示されます。「PS-*****」と表示されるプリントサーバをダブルクリックすると「PS-*****-P1」と表示されますので、選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



※プリントサーバが表示されない場合、直接パスを指定することが可能です。「プリンタ」に「¥¥PS*****¥PS*****-P1」と入力してください（「*****」には出荷時にはMini100m固有の番号が入ります。例では「BDFE32」なので「¥¥PS-BDFE32¥PS-BDFE32-P1」となります）。表示されなくてもパスを正しく設定すれば使用することは可能です。Mini300mの場合は3ポートありますので、出荷時には「LPT1」が「P1」、「LPT2」が「P2」、「LPT3」が「P3」になりますので、最後の「P*」の番号で出力先のポートを指定するようにしてください。

3. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ]をクリックしてください。



※ プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

4. 「プリンタ」ウインドウに先ほど追加したドライバが追加されます。プロパティを開いて「共有」タブをクリックして「共有する」をチェックしてください。「共有名」に書かれている名前がネットワーク上から認識されます。クライアントから見て判りやすい名前に変更するのが良いでしょう。



5. 設定が完了したら、一度[OK]ボタンをクリックしてから再度プリンタドライバのプロパティを開いてください。「全般」の「テストページの印刷」ボタンをクリックして、テストページが印刷されたら完了です。

印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

3-b. TCP/IPで設定する

- 1 [スタート] [設定] 「プリンタ」を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開きます。「このコンピュータ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



2. 出力先のポートを指定するウィンドウが表示されます。「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。



※すでに次の3～4の設定を一度行っている場合、「2」のポートリストの中に「4」で追加したポートが表示されるので、そちらをチェックして「5」へ進んでください。

3. 「プリンタポート」ウィンドウが表示されます。「利用可能なプリンタポート」から「LPR Port」を選択して「新しいポート」ボタンをクリックしてください。



※ 「LPR Port」が表示されない場合、「TCP/IP印刷」サービスが追加されていないことが考えられます。「第4章 ネットワークの設定」の4-2-bを参考にサービスを追加してください。

4.「LPR互換プリンタの追加」ウィンドウが表示されます。「lpdを提供している・・・」にMini100m/300mに設定したIPアドレスを入力し、「サーバーのプリンタ名・・・」に「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で確認できる「ポート名」を入力してください。出荷時は「サーバ名」に「-P1」を追加した値が設定されています。例では「PS-BDFE32」なので「PS-BDFE32-P1」と設定されておりますので、これがキュー名になります。Mini300mの場合は3ポートありますので、ポート1が「P1」、ポート2が「P2」、ポート3が「P3」になります。例えばポート2に接続している場合は「PS-BDFE32-P2」と設定します。



※サーバ名とポート名は設定が別々になっております。「SMART PRINT MANAGER」上でサーバ名だけ変更してもポート名はデフォルトのままとなりますのでご注意ください。ポート名の設定は「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で行います。

- 5.「プリンタポート」に「4」で設定した内容のポートが追加されます。チェックされていることを確認して[次へ]をクリックしてください。



6. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ]をクリックしてください。



7. プリント名を確認するウィンドウが表示されます。そのままでは
ければ[次へ]をクリックしてください(ここで設定した名前が
「プリンタ」の中で表示されます)。



8. 共有設定の確認画面になりますので、「共有する」にチェックしてください。



※「共有する」に設定しないと、クライアントから印刷先に指定することができなくなります。必ず「共有する」にチェックしてください。

9. テスト印刷を実行するか確認するウインドウが表示されます。
[はい]をチェックして[完了]をクリックしてください。



10. テストページが印刷されれば設定は完了です。

印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

3-c. クライアントPCの背景手順

サーバ経由で印刷する場合、クライアントはMini100m/300mに対して印刷するのではなく、サーバに接続されているプリンタに対して印刷するイメージになります。

1. [スタート] [設定] 「プリンタ」を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開くので[次へ]をクリックしてください。



2. 接続先の確認画面が表示されるので、「ネットワークプリンタ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



3. ネットワークパスの設定画面が表示されるので、[参照]をクリックしてください。



- 4.「プリンタの参照」ウインドウが表示されます。Mini100m/300mの設定を行なったサーバマシンをダブルクリックすると、その下に 5-3-a もしくは 5-3-b で設定したプリンタが表示されるので、クリックして[OK]ボタンをクリックしてください。



5. ネットワークパスに先ほど表示された情報が表示されます。[次へ] をクリックしてください。



6. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ] をクリックしてください。



※プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

7. プリンタ名の設定ウインドウが表示されます。ここに入力されている名前がWindows上で表示されます。特に変更しない場合はそのまま[次へ]をクリックしてください。



8. テスト印字を行うか確認されますので[はい]を選択して[完了]をクリックしてください。テストページが出力されれば、設定は完了です。



印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

4. Windows2000から印刷する

WindowsNT環境でのプリントサーバの設定は以下の2種類があります。

- ・ NetBEUIで設定する …………… 5-4-aへ
- ・ TCP/IPで設定する …………… 5-4-bへ

4-a. NetBEUIプロトコルで設定する

1. [スタート] [設定] [プリンタ]を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。
2. 「プリンタの追加ウィザード」が開くので[次へ]をクリックしてください。



3. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」ウインドウ表示されます。接続先を指定する画面になりますので、「ネットワークプリンタ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



- 4 [プリンタの検索]ウインドウが表示されます。「名前」には何も入力しないで[次へ]をクリックしてください。



5.「プリンタの参照」ウインドウが表示されて共有プリンタの検索が開始されます。



6 検索された結果が表示されますので、一覧にご使用のプリントサーバ名が表示されているか確認してください。

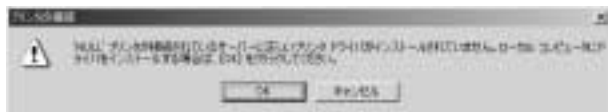


※プリントサーバが表示されない場合、直接パスを指定することが可能です。「プリンタ」に「¥¥PS-*****¥PS-*****-P1」と入力してください（「*****」には出荷時にはMini100m固有の番号が入ります。例では「BDFE32」なので「¥¥PS-BDFE32¥PS-BDFE32-P1」となります）。表示されなくてもパスを正しく設定すれば使用することは可能です。Mini300mの場合は3ポートありますので、出荷時には「LPT1」が「P1」、「LPT2」が「P2」、「LPT3」が「P3」になりますので、最後の「P*」の番号で出力先のポートを指定するようにしてください。例えばポート2にデータを送信したい場合は「P2」を指定してください。「8」へ進みます。

7. ご使用のプリントサーバ名をダブルクリックすると、出力先のポート名が表示されます。Mini300mの場合は3ポートありますので、どのポートにデータを送信するのか選択してください（上から順にLPT1、LPT2、LPT3になります）。



8. 「NULLプリンタに接続されているサーバーに・・・」と表示されますので[OK]ボタンをクリックしてください。



9.ご使用になるプリンタを一覧から選択してください。



※プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

- 10.標準で使うプリンタとして使用する場合は [はい] を選択して、 [次へ] を選択してください。設定内容の確認画面が表示されますので [完了] をクリックすると設定は終了です。



11. 追加されたプリンタドライバのプロパティを開いてください。
[ポート]タブをクリックして「双方向サポートを有効にする」
がチェックされていたらチェックを外していただき[適用]ボタン
をクリックしてください。



12 [全般] タブをクリックしていただき [テストページの印刷] ボタンをクリックして、テスト印刷が実行できるか確認してください。



印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

4-b. TCP/IPプロトコルで設定する

すでにTCP/IPでネットワークが構築されていて、プリントサーバにIPアドレスが設定されていることを前提にして説明を行います。

1[スタート] [設定] [プリンタ]を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。

2「プリンタの追加ウィザード」が開くので[次へ]をクリックしてください。



3. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」ウインドウ表示されます。接続先を指定する画面になりますので、「ローカルプリンタ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



- 4[新しいポートの作成]をチェックして[Standard TCP/IPPort]
を選択して[次へ]をクリックしてください。



- 5.「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの開始」ウインドウ
が開きます[次へ]をクリックしてください。



6. 「ポートの追加」ウインドウが開きますので「プリンタ名またはIPアドレス」にプリントサーバに設定したIPアドレスを入力して[次へ]ボタンをクリックしてください。

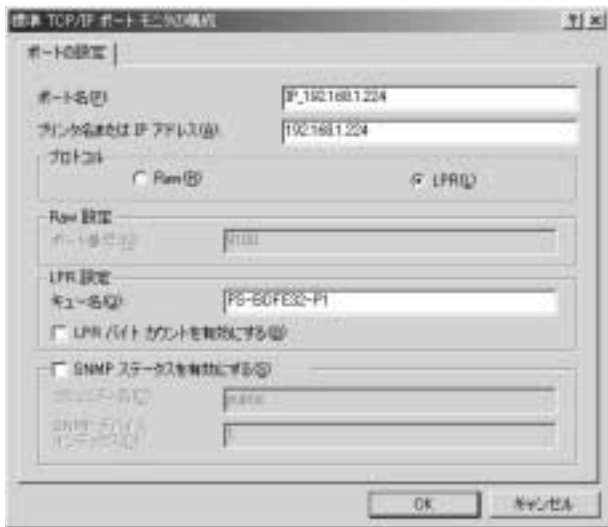


※図のIPアドレスはあくまで例ですので、実際の作業ではプリントサーバに設定したIPアドレスを入力してください。

7. 「ポート情報がさらに必要です」というウインドウが開きます。
[デバイスの種類]で[カスタム]をチェックして[設定]ボタンをクリックしてください。



8. 「プロトコル」を[LPR]に変更して「LPR設定」の「キュー名」に「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で確認できる「ポート名」を入力してください。出荷時は「サーバ名」に「-P1」を追加した値が設定されています。例では「PS-BDFE32」なので「PS-BDFE32-P1」と設定されておりますので、これがキュー名になります。Mini300mの場合は3ポートありますので、ポート1が「P1」、ポート2が「P2」、ポート3が「P3」になります。例えばポート2に接続している場合は「PS-BDFE32-P2」と設定します。



※サーバ名とポート名は設定が別々になっております。「SMART PRINT MANAGER」上でサーバ名だけ変更してもポート名はデフォルトのままとなりますのでご注意ください。ポート名の設定は「SMART PRINT MANAGER」の「サーバデバイス」の「ポートの設定」で行います。

9. 設定内容の確認画面が表示されますので[完了]をクリックすると設定は終了です。



10. プリンタ名を入力するウィンドウになります。特に変更しない場合はそのまま[次へ]をクリックしてください。



11. 設定したプリンタをネットワーク上で共有しない場合は[次へ]をクリックしてください。



12. 設定内容の確認画面が表示されますので [完了] をクリックしてください。設定は終了です。



13. 追加されたプリンタドライバのプロパティを開いてください。
[ポート]タブをクリックして「双方向サポートを有効にする」
がチェックされていたらチェックを外していただき [適用]ポ
タンをクリックしてください。



- 14 [全般] タブをクリックしていただき [テストページの印刷] ボタンをクリックして、テスト印刷が実行できるか確認してください。



印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

5. NetWareサーバ経由で印刷する

ここでは、Novell NetWare3.1x/4.xネットワークに接続したプリンタから印刷を行えるようにプリントサーバを設定する方法を解説します。本節の内容は、ネットワーク内でいずれかのワークステーションが一台でもバインダリ・エミュレーションモードでNovell NetWare4.xサーバに接続されている場合にも適用されます。

NetWare3.1x

プリントサーバモードで設定する手順について ……5-5-a

リモートプリンタモードで設定する手順について ……5-5-b

NetWare4.x

NDSプリントサーバモードで設定する手順について ……5-5-c

NDSリモートプリンタモードで設定する手順について ……5-5-d

クライアントPCの設定手順 ……5-5-e

5-a. プリントサーバモードで設定する手順について

ここではプリントサーバをNetWare3.1xプリントサーバとして設定する方法および、ファイルサーバ上のプリントキューを処理するようプリントサーバ上のポートを設定する方法について説明します。

1.NetWareサーバにスーパーバイザもしくはこれと同等の権限を持つユーザとしてログオンしてください。

2. プリントサーバ上でNetWareプロトコルを有効にします。この設定は[プリントサーバの環境設定]ウィンドウ内で行えます。このウィンドウは、プリントサーバを選択し[環境設定]ウィンドウ内の[サーバデバイス]を選択すると表示されます。

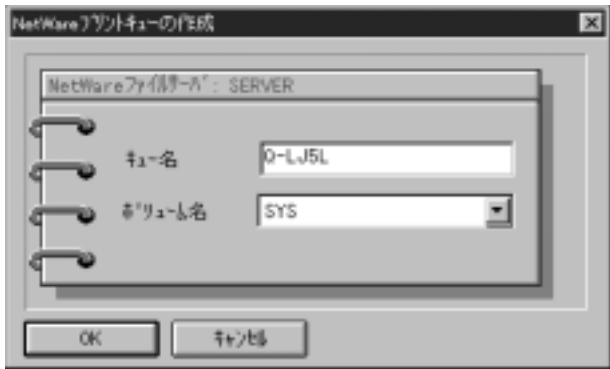


- 3[環境設定]メニューから[NetWareプロトコル]を選択するか、ツールバー上の[NetWareの環境設定]ボタンをクリックしてください。次に、[バインダリプリントサーバ]タブをクリックします。
- 4.ポートボタンのリストが表示されますので、この中からプリントキューの処理を行うポートを選択しそのボタンをクリックしてください。

5. プリントキューを保存する、NetWareサーバのサーバ名をクリックしてください。(サーバ名の左にある「+」マークをクリックすると、そのサーバ上にあるプリントキューのリストが追加で表示されます)



- 6.サーバ上の既存のプリントキューを使わない場合は、新規にプリントキューを作成する必要があります。[キューの作成] ボタンをクリックし、新規プリントキューの名前を入力してください。次に、このプリントキューを保存するファイルサーバ・ボリュームを指定してください。[OK] をクリックすると、プリントキューが作成されます。



- 7.作成したプリントキューの名前をクリックしてください。

- 8[追加]ボタンをクリックし、ポートの[サービスされたキュー]リストにプリントキューを追加してください。



- 9[OK]をクリックし、[環境設定]メニューから[環境設定の保存]を選択するか、ツールバー上の[環境設定の保存]ボタンをクリックしてください。これで、プリントサーバとNetWareサーバの新しい設定が保存されます。プリントサーバは自動的に再起動します。再起動後、プリントサーバは設定されたプリントキューの処理を開始します。

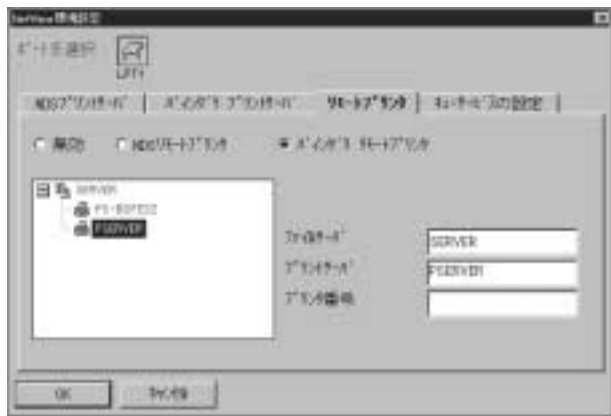
上記ステップ6でプリントキューを作成した場合、状況によってはキューオペレータやキューユーザをプリントキューにアサインする必要があります。プリントキューへのアサインは、SMART PRINT MANAGERおよびNetWare PCONSOLEプログラムのどちらでも行うことができます。デフォルト設定ではプリントキューのオペレータはスーパーバイサ(SUPERVISOR)になっているほか、グループ「EVERYONE」内のユーザはすべてプリントキューを使えるようになっています。

5-b. リモートプリンタとしてセットアップする方法

プリントサーバは、NetWare3.1xリモートプリンタとしてもセットアップできます。この場合管理が若干簡単になりますが、印刷時のディレイは長くなります。以下の手順でプリンタポートをリモートプリンタポートに設定してください。

1. NetWareサーバにSUPERVISORもしくはそれと同等の権限を持つユーザとしてログオンしてください。
2. プリントサーバ上でNetWareプロトコルを有効にします。この設定は[プリントサーバの環境設定]ウィンドウ内で行えます。このウィンドウは、プリントサーバを選択し[環境設定]ウィンドウ内の[サーバデバイス]を選択すると表示されます。
3. NetWareプリントサーバがNetWareファイルサーバ上で動作していることを確認してください。この環境を用意する方法については、NetWareのマニュアルを参照してください。
4. [環境設定]メニューから[Netwareプロトコル]を選択するか、ツールバー上の[NetWareの環境設定]ボタンをクリックしてください。次に[リモートプリンタ]タブをクリックしてください。
5. 画面上のポートボタンの中から、リモートプリンタサービス用として使用するポートに対応するボタンをクリックしてください。
6. [バインダリリモートプリンタ]のオプションをクリックしてください。SMART PRINT MANAGERは、使用中のネットワークからアクセスできるNetWareサーバのリストを表示します。

- 7.サーバ名の左にある「+」マークをクリックし、そのファイルサーバ上で動作しているプリントサーバのリストを追加表示してください。このリストの中から、リモートプリンタとして使用するプリントサーバをクリックしてください。



8. 選択したプリントサーバ上でどのプリンタ番号が使用可能であることを確認し、[プリンタ数] フィールドに、まだ他で使われていないプリンタ番号を入力してください。プリンタ番号には0から15までの番号が設定できます。
- 9[OK] ボタンをクリックし、[環境設定] メニューから [環境設定の保存] を選択してください (またはツールバー上の [環境設定の保存] ボタンを押してください)。これでプリントサーバと NetWareサーバの新しい設定内容が保存されます。プリントサーバは自動的に再起動します。再起動後、プリントサーバは指定されたプリントサーバ用のリモートプリンタとして動作します。

5-c. NDSプリントサーバモードで設定する手順について

Mini100m/300mは、NetWare3.1xネットワークで使用されているバインダリサーバデータベースと、NetWare4.xネットワークで使用されているネットワーク規模のNDS(NetWare Directory Services)データベースのどちらにも対応します。本節では、NDS環境でのプリントサーバの使用方法を解説します。

なお、NetWareバインダリ環境での印刷に関するその他の情報については前節を参照してください。

NetWareディレクトリサービスについて

NetWareバージョン3.1xでは、バインダリというデータベースにユーザ情報、ファイルサーバのボリューム、プリントサーバ、プリントキュー、およびその他の情報を保存します。NetWareサーバ管理プログラム(例:SYSCON、PCONSOLE等)は、バインダリ内のエントリに変更を加えることによりファイルサーバの運営を管理します。バインダリデータベースの主な欠点は、データベースそのものが一つのサーバに限定されてしまう点です。多数のサーバを使ったネットワークでは各サーバごとに設定を行う必要があるため、管理が困難になります。大企業においては、各部署別にNetWareサーバが独自の方法で運営されてしまう、といった混乱が生じかねません。このような状況では、企業内のすべてのファイルサーバ間で調整・管理を行うことはほぼ不可能となってしまいます。

この問題への対応策として、NetWareバージョン4.xはローカルレベルでも全地球レベルでも管理が可能なNetWareディレクトリサービス(NDS)を採用しました。NDSでは、各オブジェクトはファイルサーバ単位だけでなく、管理用ドメイン単位でも構成可能となっています。

NDSデータベースでは、各オブジェクトをツリー構造上で管理します。ツリー上の各「枝」にはそれぞれ各地域支店や部門、また部署等の管理区分を割り当てることができます。

オブジェクト(ユーザ、サーバ、サーバボリューム、プリントサーバ、プリントキュー等)は、このツリー上のどこにでも配置できます。また、ツリー構造はすべてのサーバ上で共有されます。ツリー上の

変更はすべてのサーバ上で反映されるため、各サーバごとに管理を行う必要がより少なくなります。

既存のNetWare3.1xクライアント/サーバとの互換を保つため、NetWare4.xでは3.1xサーバ上の内容をバインダリオブジェクトとして扱うなどのバインダリエミュレーションをサポートしています。

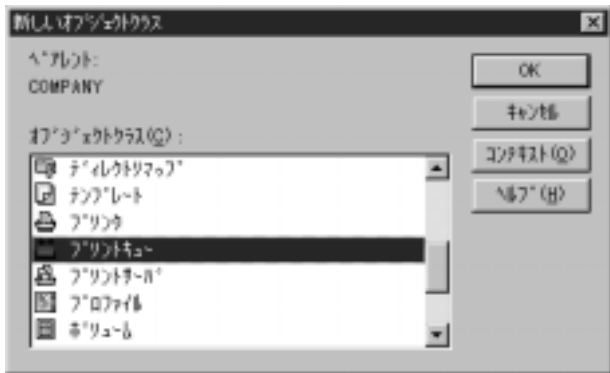
設定手順

プリントサーバをNetWare4.x NDSプリントサーバとしてセットアップする場合は、まずいくつかのNDSオブジェクトを作成する必要があります。これはDOSおよびWindowsの両環境で行うことが可能です。DOS環境では「PCONSOLE」または「NETADMIN」プログラムが使用できます。Windows環境ではNWADMIN NetWare Administratorプログラムを使用します。以下の例では、NWADMINを使用します。PCONSOLEもしくはNETADMINを使ってセットアップを行う方法については、お手持ちのNetWare関連の資料を参照してください。

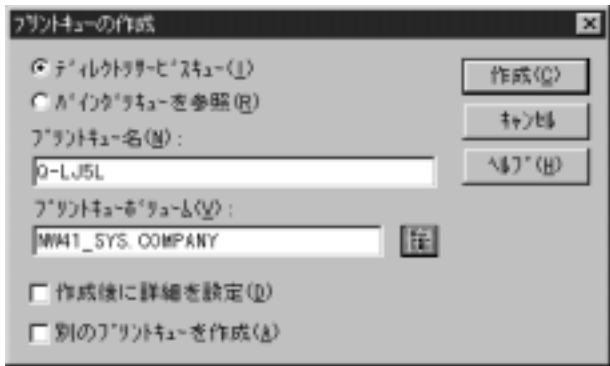
以下の手順に従って、NetWare NDSで印刷を行うようプリントサーバを設定してください。

- 1.NWADMINプログラムを開始します。ツリーを展開し、プリントサーバを設定するコンテキストを指定してください。

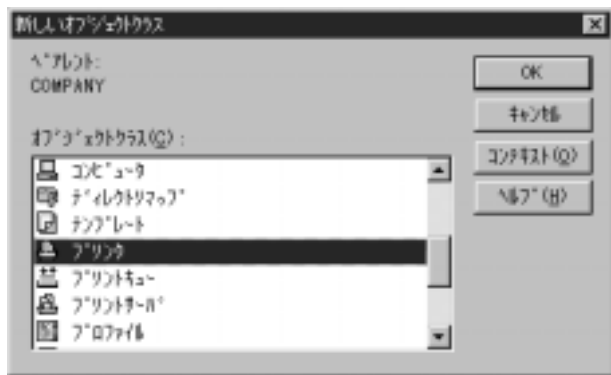
- 2[オブジェクト]メニューから[作成]を選択します。オブジェクトクラスとして「プリントキュー」を選択し、OKボタンをクリックしてください。



- 3.プリントキューの名前を入力してください。次にプリントキューを格納する、ファイルサーバボリュームのNDSオブジェクトを指定し[作成]ボタンをクリックしてください。



- 4.NDSコンテキストを再び選択し、[オブジェクト]メニューから [作成]を選択してください。次にプリンタを選択しOKをクリックしてください。



- 5.プリンタの名前を入力してください。この名前はプリントサーバ上で設定されているポート名と同じものを使用します。[作成] ボタンをクリックし、NDSコンテキスト内にプリンタを作成してください。Mini300mの場合、LPT2を指定する場合はP1をP2に変更してください。



- 6.このプリンタをダブルクリックし、[割り当て]タブをクリックしてください。次に[追加]ボタンをクリックし、プリントサーバで処理を行うプリントキューを選択してください。また、優先順位もオプションで設定可能です。OKをクリックし、このプリンタ用のプリントキューの割り当て設定を完了してください。



- 7.使用中の各プリントサーバのポートに対し、ステップ4から6までを繰り返してください。

8. 再びコンテキストを選択し、[オブジェクト]メニューから[作成]を選択してください。オブジェクトタイプとして[プリントサーバ]を選択し、OKボタンをクリックしてください。次にプリントサーバ名を入力します。この名前はネットワークプリントサーバと同じ名前を使用します。[作成]ボタンをクリックし、プリントサーバ・オブジェクトを作成してください。

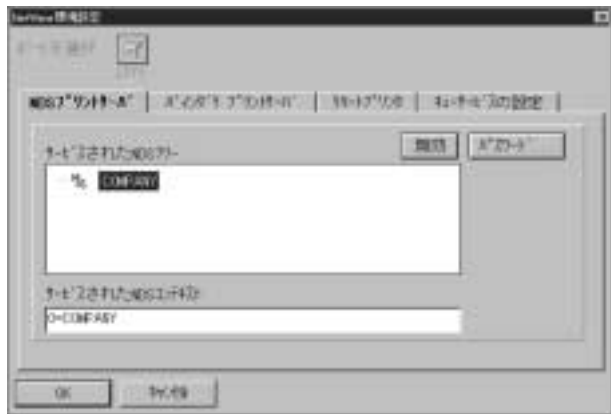


- 9.今作成したプリントサーバオブジェクトをダブルクリックし、[割り当て] タブをクリックしてください。次に[追加] ボタンをクリックし、先ほど作成したプリンタ・オブジェクトをプリントサーバに追加してください。この時点でプリンタの番号がポート番号と正しく対応しているかどうか確認してください。例えば、一番目のポートはプリンタ番号0、二番目のポートはプリンタ番号1となります。OKボタンをクリックし、プリントサーバへのプリンタの割り当てを終了してください。



- 10.SMART PRINT MANAGERを開始し、プリントサーバを選択してください。次に[環境設定]メニューから[NetWareプロトコル]を選択し、[NDSプリントサーバ]タブをクリックしてください。

- 11.NDSツリーを選択し、プリントサーバ・オブジェクトを作成したコンテキストを入力します。最後にOKボタンをクリックしてください。



- 12[環境設定]メニューから[環境設定の保存]を選択するか、ツールバー上の[環境設定の保存]をクリックしてプリントサーバの設定を変更してください。プリントサーバは自動的に再起動し、そのプリンタポートに割り当てられたプリントキューの処理を開始します。

プリントサーバ、プリンタおよびプリントキューの設定に関するより詳しい情報については、お手持ちのNetWare関連の資料を参照してください。

5-d. NDSリモートプリンタとしてセットアップする方法

プリントサーバは、NetWare4.xリモートプリンタとしてセットアップすることもできます。この設定では管理が若干簡単になりますが、印刷のディレイが長くなりやすくなります。以下の手順に従って、プリンタポートをリモートプリンタ・ポートとしてセットアップしてください。

1. まず、NetWareサーバに必ずAdminもしくは同等の権限を持つユーザとしてログオンしてください。
2. サーバ上でNetWareプロトコルが有効になっていることを確認してください。確認を行うには、まずプリントサーバを選択し[環境設定]ウィンドウから[サーバデバイス]を選択してください。[プリントサーバの環境設定]ウィンドウが表示されますので、NetWareが有効となっているかどうか確認してください。
3. NetWareプリントサーバが既に作成されており、またNetWareファイルサーバ上で稼働していることを確認してください。この設定を行う方法についてはお手持ちのNetWare関連のマニュアルを参照してください。
4. SMART PRINT MANAGERの[環境設定]メニューから[NetWareプロトコル]を選択するか、ツールバー上の[NetWareの環境設定]ボタンをクリックしてください。次に[リモートプリンタ]タブをクリックしてください。
5. ポート番号のリストから、リモートプリントサーバ用のポートの番号をクリックしてください。
6. [NDSリモートプリンタ]をクリックしてください。SMART PRINT MANAGERは、使用中のネットワークからアクセス可能なNetWare NDSコンテキストをツリー表示します。

- 7.使用するコンテキストの名前を入力してください。次に、このコンテキスト内にあるプリントサーバの名前を入力してください。



- 8.プリントサーバ上で使用可能なプリンタ番号を確認し、[プリンタ数]フィールドにまだ他で使われていないプリンタ番号を入力してください。プリンタ番号には0から15までの値が設定できます。
- 9.OKボタンをクリックします。次に[環境設定]メニューから[環境設定の保存]を選択するかツールバー上の[環境設定の保存]をクリックし、プリントサーバの設定を変更してください。プリントサーバは自動的に再起動し、今後は指定されたプリントサーバ用のリモートプリンタとして動作します。

5-e. クライアントPCの設定手順

サーバ経由で印刷する場合、クライアントはMini100m/300mに対して印刷するのではなく、NetWareサーバに対して印刷するイメージになります。

- 1[スタート] [設定] 「プリンタ」を開いて「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開くので[次へ]をクリックしてください。



- 2.接続先の確認画面が表示されるので、「ネットワークプリンタ」をチェックして[次へ]をクリックしてください。



- 3 ネットワークパスの設定画面が表示されるので、[参照] をクリックしてください。



4. 「プリンタの参照」ウインドウが表示されます。Mini100m/300m の設定を行なったサーバマシンをダブルクリックすると、その下に作成されたプリンタキューが表示されるので、クリックして [OK] ボタンをクリックしてください。



5. ネットワークパスに先ほど表示された情報が表示されます。[次へ]をクリックしてください。



6. プリンタの選択画面が表示されます。使用しているプリンタを選択して[次へ]をクリックしてください。



※プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

7. プリンタ名の設定ウインドウが表示されます。ここに入力されている名前がWindows上で表示されます。特に変更しない場合はそのまま[次へ]をクリックしてください。



8. テスト印字を行うか確認されますので[はい]を選択して[完了]をクリックしてください。テストページが出力されれば、設定は完了です。



印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

6. Macintoshから印刷する

AppleTalkネットワークプロトコルは、MacOSというOSを使ったコンピュータ上で使用されます。AppleTalkは標準のイーサネットやファストイーサネットを使ったネットワーク通信で使用できるほか、より低速の専用プロトコル[LocalTalkトランスポート]でも使うことができます。

Macintoshからプリントサーバを経由したネットワーク印刷は、PostScript(以下PS)プリンタが必要になります。PS以外のプリンタではMacintoshからのプリントサーバ経由での印刷は実行できませんのでご注意ください。印刷方法は、直接EtherTalk接続を使った方法と、間接的にLocalTalk-EtherTalk間のルータを使った方式のどちらもサポートしています。

備考

プリントサーバ上のポートに接続されているプリンタの[セレクタ]名は、そのポート名と同じになります。AppleTalkでの印刷を行う場合は、AppleTalkを使用しているネットワーク全範囲内で、他のプリンタが同じポート名を使用していないことを確認してください。

プリントサーバをAppleTalk用にセットアップするには

AppleTalkでの印刷用にプリントサーバをセットアップするには、以下の設定を行ってください。特殊な場合を除いて、特に設定せずにそのまま使用することができます。Macintoshから設定を行ないたい場合は、TELNETでの接続になります。TELNETでの設定については第4章をご覧ください。

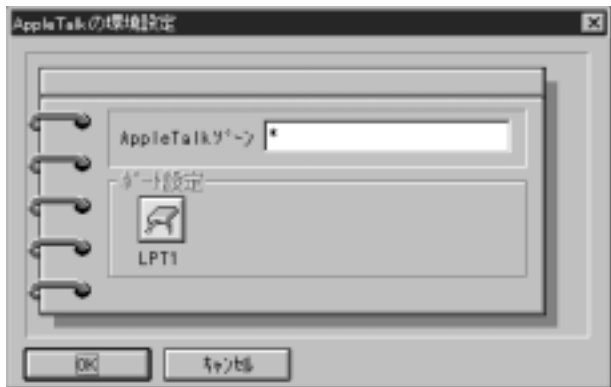
- 1.Windowsクライアントから「Smart Print Manager」を起動し、[プリントサーバの環境設定]ウィンドウ内の[AppleTalk]にチェックマークが入っていることを確認してください。(AppleTalkプロトコルを有効にする必要があります。)プリントサーバを選択し、[環境設定]メニューから[サーバデバイス]を選択してください。[プリントサーバの環境設定]画面が表示されます。



※出荷時は有効になっています。

- 2.[環境設定]メニューから[AppleTalkプロトコル]を選択してください。

3. 使用中のAppleTalkネットワークが複数の「AppleNetworkゾーン」に分割されている場合は、どのゾーン内でプリントサーバを使用するかを指定してください。指定するゾーンとしては、プリントサーバを使用するユーザが多く集まっているゾーンを選択してください。ネットワークが分割されていない場合、[AppleTalkゾーン]フィールドにはアスタリスク("*")が表示されます。



4. AppleTalkで使用する各プリンタポートの中には、AppleTalkポート用の設定を変更する必要があるものもあります。該当する[ポート設定]のボタンをクリックし、[AppleTalkポートの環境設定]ウィンドウを表示してください。



SMART PRINT MANAGERはポートの[セレクタ](ポート名と同じもの)を表示します。ポートの以下の設定が変更可能です。

プリンタタイプ

プリンタの種類を表示します。PostScriptプリンタを使用中のときは、特殊な場合を除きLaserWriterと設定してください。

PostScript Level

プリンタがLevel 1 PostScriptとLevel 2 PostScriptのどちらに対応しているかを設定します。この情報はプリンタの付属マニュアルまたは、プリンタの印字テスト等で確認してください。

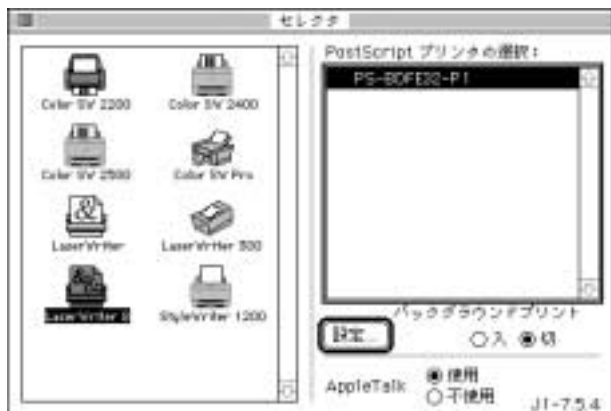
- 5.OKボタンをクリックし、[AppleTalkの環境設定]ダイアログボックスに戻ってください。
- 6.OKボタンをクリックしてください。次に[環境設定]メニューから[環境設定の保存]を選択するか、ツールバー上の[環境設定の保存]をクリックしてプリントサーバ内の設定を変更してください。プリントサーバは自動的に再起動し、印刷ジョブの処理を開始します。

MacOSクライアントワークステーションから印刷を行うにはプリントサーバに接続されているPostScriptプリンタを選択する方法は、使用中のプリンタドライバのバージョンにより若干異なります。以下に挙げる方法では、Laser Writer 8プリントドライバの使用を想定しています。

プリントサーバに接続されているプリンタをMacOSワークステーションのデフォルトプリンタに設定するには、以下の設定を行ってください。

- 1[Apple]メニューから[セレクタ]を選択し、セレクタを開いてください。
- 2.右側の画面で、LaserWriter 8アイコンを選択してください。また、AppleTalkが[使用]に設定されていることを確認してください。

3. ネットワーク上のすべてのPostScriptプリンタがリスト表示されます。



使用するプリンタ(ポート)名をクリックしてください。

Mini300mをご使用の場合、末尾が「P1～P3」がプリントサーバのLPT1～LPT3に対応しておりますので、データを出力したいポートを選択してください。

4. このプリンタをまだデフォルトプリンタとして設定していない場合、コンピュータは[プリンタ記述](PPD)ファイルを確認してきます。使用中のプリンタ用のプリンタ記述ファイルを選択してください。リスト上で使用中のプリンタが見つからない場合は、[一般設定を使用]をクリックして[一般設定]を使用してください。今後この設定を使用される場合は、[セレクト]ウィンドウ内の[再設定]ボタンをクリックしてください。
5. これで選択されたプリンタがコンピュータのデフォルトのプリンタになりました。現在何かアプリケーションを開いている場合は、その中の[ページ設定]を選択する必要があります。

7. UNIXから印刷する

プリントサーバは、lpr/lpdネットワーク印刷プロトコルを使用するシステムに印刷サービスを提供します。Lpdは、ほぼすべてのUNIXシステム上でサポートされています。

本章では 1)SMART PRINT MANAGERを使ってプリントサーバをTCP/IP用に設定する方法および 2)プリントサーバに印刷するようUNIXワークステーションを設定する方法を解説します。

Windowsワークステーションを使用しないTCP/IPネットワークを使用中の場合は、telnetコマンドを使ってプリントサーバを設定してください。Telnetインターフェースの詳細については、「4-3-c TELNETを使って設定する」を参照してください。

TCP/IPネットワーク環境の設定

プリントサーバで 1)TCP/IPベースの印刷および 2)SNMPまたは telnetベースでの管理を行うには、以下の設定を行ってください。

- 1.まずプリントサーバを選択し、[環境設定]メニューから[サーバデバイス]を選んで[プリントサーバの環境設定]ウィンドウを表示します。画面内の[TCP/IPプロトコル]が選択されていることを確認してください(TCP/IPプロトコルを有効にする必要があります)。



- 2.[環境設定]メニューの中から[TCP/IPプロトコル]を選択してください。

3. プリントサーバのIPアドレス、ローカルネットワーク・サブネットマスクおよびデフォルト・ゲートウェイを設定してください。



- 4 [OK] ボタンをクリックしてください。次に [環境設定] メニューから [環境設定の保存] を選択するかツールバー上の [環境設定の保存] をクリックし、プリントサーバの設定を変更してください。

プリントサーバは自動的に再起動します。再起動後は、プリントサーバで 1) lpd プロトコルを使った印刷、2) telnet プロトコルでの管理、3) SNMP ベースでの、ネットワークの集中管理、がすべて使用可能となります。

SNMPベースの管理を有効にするには

SNMP(Simple Network Management Protocol)は、大規模なネットワークを1台の端末で管理するための標準プロトコルとなっています。プリントサーバは、MIB-II(Management Information Base)をサポートします。MIB-IIは、プリントサーバのTCP/IPおよびEthernetネットワーク上の動作統計をとります。

SNMP(バージョン1)には「各リクエストには必ず[コミュニティ名]が入っていないなければならない」というセキュリティ上のルールがあります。コミュニティ名とはハブへのアクセスを制限する「パスワード」のようなもので、任意の文字列を設定できるようになっています。ハブは、自身が認識できないコミュニティ名の入ったリクエストを受け取ると認証トラップを起動します。

プリントサーバには最大3個までのコミュニティ名が設定できます。また各コミュニティに対し、アクセス権限もそれぞれ[読み取り専用]または[読み書き可能]のどちらかを設定することができます。既存のネットワーク管理システム上のコミュニティ名と、プリントサーバ上のコミュニティ名とを混同しないよう管理を行ってください。

以下の手順でプリントサーバにコミュニティ名を設定してください。

- 1[環境設定]メニューから[TCP/IPプロトコル]を選択します。
- 2[SNMP]ボタンをクリックし、[SNMPの環境設定]ウィンドウを表示してください。



- 3.必要に応じてコミュニティ名を追加し、各コミュニティ名にアクセスレベルを設定してください。
- 4.OKボタンをクリックし、[SNMPの環境設定]ウィンドウを終了してください。

SNMPトラップの設定

プリントサーバの電源を入れる、また未知のコミュニティ名を使ってSNMPリクエストが出されるといった特殊な状況が発生すると、プリントサーバは、ネットワークの管理ステーションにSNMPトラップを発信します。プリントサーバは、トラップを最大3つまでのネットワーク管理ホストにルートすることが可能です。

プリントサーバでトラップを有効にするには、以下の設定を行ってください。

- 1[環境設定]メニューから[TCP/IPプロトコル]を選択します。
- 2.[トラップ]ボタンをクリックし、[トラップの環境設定]ウィンドウを表示してください。



- 3[SNMPトラップを送信する]ボックスにチェックマークを入れ、SNMPトラップの送信を有効にしてください。
- 4.各トラップ受信者のIPアドレスおよびコミュニティ名を設定してください。
- 5[OK]ボタンをクリックし、[トラップの環境設定]ウィンドウを終了してください。

UNIXからテキストファイルを印刷するには

MS-DOSやWindowsベースのOS上のテキストファイルでは各行の最後にキャリッジ・リターンおよび改行文字を使用するのに対し、UNIX上のテキストファイルでは「復帰改行 (newline)」文字を使用します。ほとんどのプリンタでは各行の最後でキャリッジ・リターンおよび改行文字が共に必要となっているため、一般のプリンタでUNIX上のテキストファイルを印刷するには変換作業が必要となります。このため、Mini100m/300mでは1つのプリンタポートに「2台の」プリンタを設定できるようになっています。最初の1台はポート自体に印刷を行い、もう1台はポート名の最後に「_TEXT」と入ったポートに印刷を行います。後者のポートに印刷されるファイルはキャリッジ・リターン/改行のペアが入った形式に変換されるため、一般のプリンタでの印刷が可能となります。

例えば、プリンタ「hp51」をポート「PS-142634-P1」への印刷用に設定し、プリンタ「hp51t」をポート「PS-142634-P1_TEXT」へ印刷を行うプリンタとして設定したとします。この場合、グラフィックファイルはプリンタhp51に印刷され、テキストそのままのファイルはhp51tプリンタに出力されます。

BSD UNIXバージョンから印刷を行うには

SunOS 4.x、Linux、BSD/OS、FreeBSDまたNetBSDなど、BSDリリースを元に開発された(もしくはBSD関連の)Unix OS上でプリントサーバ上のプリンタを使用する場合は以下の設定を行ってください。

1. Superuser (root)としてログインします。

- 2.ホストの/etc/hostsファイルにプリントサーバ用のエントリを追加してください。また、このときプリントサーバのIPアドレス用にホストネームも設定してください。/etc/hosts内のラインには、IPアドレスおよび、一つかそれ以上のホスト用エイリアスが含まれています。以下の例を参照してください。

202.39.74.40 ps-142634 ps-142634.abc.com

DNS(Domain Naming Services protocol)を使用中の場合は、プリントサーバ用にDNSデータベースにアドレスレコード・エントリを追加することができます。

- 3.プリンタ用のスプールディレクトリを作成します。

SunOSシステム上では、/var/spoolディレクトリのサブディレクトリとしてスプールディレクトリを作成します。またディレクトリ名はプリンタ名を使用します。

Linuxシステム上では、/usr/spool/lpディレクトリのサブディレクトリとしてスプールディレクトリを作成します。

BSD/OS、FreeBSDおよびNetBSDシステム上では、/var/spoolディレクトリのサブディレクトリとしてスプールディレクトリを作成します。

- 4.このディレクトリのownerとpermissionをグループ[daemon]用に変更し、同グループから書込みができるよう設定します。以下のコマンドを実行してください。

```
chown bin.daemon /var/spool/hp5l  
chmod 775 /var/spool/hp5l
```

- 5.以下のようなプリンタ用のエントリを/etc/printcapに追加してください。

```
hp5l :¥  
:lp=:sd=/var/spool/hp5l:mx#0:¥  
:rm=ps-142634:rp=PS-142634-P1:
```

各エントリの意味については下記の説明を参照してください。sdエントリのディレクトリパスは、上記ステップで作成したディレクトリ名と同じになります。使用中のエントリが複数行を必要とする場合は、行末に¥を入力してください。

- 6.以下のコマンドを入力し、プリンタ用のスプール・デーモンを起動してください。

```
lpc start hp5l
```

これでプリンタは使用可能となりました。

7. 必要であれば、port_TEXTポートを使って、2台目のプリンタ用にもう1つprintcapエントリを追加することもできます。この場合、lpc startコマンドをもう1回使用する必要があります。2台目のプリンタ名は、テキストファイルの印刷に使用できます。

/etc/printcap内のエントリは、プリンタの名前で開始する場合と、複数の名前で始まる場合があります。後者の場合、各名前は「|」（縦線）で区切られます。

以下に、printcapで使用したエントリを説明します。

lp=……………lpエントリは、ローカルプリンタデバイスを指定します。プリンタはリモートプリンタとなっているため、このエントリは空白のままにしてください。

sd=dir……………プリンタのローカル・スプールディレクトリの場所を指定します。

mx#blocks……ローカルスプールディレクトリに格納できるプリントジョブの最大数です。「0」と設定すると無制限数になります。

rm=address……リモートプリンタの存在するホストを指定します。本製品の場合、プリントサーバになります。

rp=printer……リモートホスト上のプリンタ名です。プリントサーバ使用時は、ここでポート名を使用してください。

▲ 注意

大文字、小文字とも正確に入力してください。

SCO Unix System V/386から印刷を行う

SCO Unix System V/386ホストからプリントサーバに接続されたプリンタに印刷を行うには、以下の設定を行ってください。

1. Superuser (root)としてログインしてください。
2. ホストの/etc/hostsファイルにプリントサーバ用のエントリを追加してください。また、このときプリントサーバのIPアドレス用にホストネームも設定してください。/etc/hosts内のラインには、IPアドレスおよび、一つかそれ以上のホスト用エイリアスが含まれています。以下の例を参照してください。

202.39.74.40 ps-142634 ps-142634.abc.com

DNS(Domain Naming Services protocol)を使用中の場合は、プリントサーバ用にDNSデータベースにアドレスレコード・エントリが追加できます。

3. /devディレクトリに移動し、mkdev rlpコマンドを実行してください。
4. 以下のメッセージが表示されます。

Do you want to install or delete remote printing (i/d/q)?

「i」を入力し、[Enter]キーを押してください。

5. 以下のメッセージが表示されます。

Do you want to change the remote printer description file /etc /printcap(y/n)?

「y」を入力し、[Enter]キーを押してください。

6.以下のメッセージが表示されます。

Please enter the printer name (q to quit):

ローカルマシン上のプリンタの別名(alias)を入力し、Enterキーを押してください。この名前はデスティネーション・ポート名と同じものを使用します。

7.以下のメッセージが表示されますので、「r」を入力してください。

Is printer a remote printer or a local printer(r/l)?

8.次に以下のメッセージが表示されます。

Please enter the name of the remote host that printer is attached to:

プリントサーバのアドレスを入力してください。このアドレスには、上記ステップで/etc/hostsに追加したものをお使いください。

9.これまでの入力が正しいかどうか確認してください。正しいければ「y」を入力します。

Is this correct?(y/n)

10.以下のメッセージが表示されます。このプリンタをデフォルト・プリンタとして設定する場合は「y」を、そうでない場合は「n」と入力してください。

Would you like this to be the system default printer?(y/n)

11. リモートプリンタの追加が終了したら、プリンタ名の部分で [q] を入力してください。
12. 以下のメッセージが表示されます。

Do you want to start remote daemon now (y/n)?

リモート印刷の設定が完了した後は、[lp] コマンドを使ってジョブをこのプリンタに出力できるようになります。詳細については、お手持ちのSCO Unixのマニュアルを参照してください。

Solarisから印刷を行うには

Sun Solarisワークステーションから印刷を行うには、以下の設定を行ってください。

1. Superuser (root)としてログインします。
2. ホストの/etc/hostsファイルに、プリントサーバ用のエントリを追加してください。また、このときプリントサーバのIPアドレス用にホストネームを設定してください。/etc/hosts内のラインには、IPアドレスおよび、1つもしくはそれ以上のホスト用エイリアスが含まれています。以下の例を参照してください。

202.39.74.40 ps-142634 ps-142634.abc.com

DNS(Domain Naming Services protocol)を使用中の場合は、プリントサーバ用のDNSデータベースにアドレスレコード・エントリが追加できます。

3. OpenWindows内で、[admintool]プログラムを開始してください。

- 4[Printer Manager]アイコンをクリックしてください。
- 5[Edit]メニューから[Add Printer] [Add Access to Remote Printer]と選択してください。
- 6.各フィールドに以下のように値を入力してください。

Printer Name:

お使いになるプリンタポートと同じ名前を入力します。入力する際は、大文字・小文字の区別を正確に行ってください。

Printer Server:

プリントサーバのIPアドレスか、上記ステップ2で追加した別名 (alias)を入力します。

Printer Server OS: 「BSD」と設定してください。

- 7.ここまでの入力が正しいかどうかを確認してください。
- 8.他にテキスト印刷用のプリンタを追加する場合は、上記ステップを繰り返して追加を行ってください。この場合ポート名には「_TEXT」を追加してください。

プリンタの追加が完了すると、lpコマンドを使って印刷を行うことができます。この詳細についてはSolaris関連のマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

Q. どんなプリンタで印刷できるのでしょうか。

A. プリントサーバはプリンタからの信号をネットワークに返すことができません。従って「双方向パラレルポート」で動作させることが必須なプリンタ(「Windows Printing System」仕様のプリンタ等)の場合、プリンタからの信号が返ってこないためにプリンタドライバは「このコンピュータにはプリンタが接続されていない」と判断するため印刷することができません。一部のメーカーのようにオリジナルのスプールマネージャーを使うようなプリンタも使用できないことがあります。またインクジェットプリンタのインク残量を見るような機能にも対応することができません。

印刷できないプリンタ：

canon LBP-220シリーズ、EPSON LP-700W、NEC MultiWriter 1000LW等
動作確認済みのプリンター一覧は、弊社ホームページの「製品情報」からご覧いただけます。

Q. EPSONのMJ/PMシリーズのプリンタで印刷ができない。

A. 以下の手順で設定を変更してください。

- 1 [スタート] [プログラム] [EPSON] [スプールマネージャー]を開いてください。
2. 使用しているプリンタを選択して[プリントキュー] [キューセットアップ]を開いてください。
3. 「全体」の「プリントマネージャーを使用する」をチェックして[OK]ボタンをクリックしてください。以上で印刷できるようになります。

Q. HEWLETT PACKARDのDeskJetシリーズのプリンタで印刷ができない。

A. 双方向通信機能を無効にしてみてください。双方向通信機能の設定方法につきましては、HEWLETT PACKARD社のWebページ「テクニカルサポート」のページをご参照ください。

Q. SMART PRINT MANAGER(以下SPM)を起動したがプリントサーバが検出されない。

A. IPX/SPXプロトコルが追加されているか「第3章 ネットワークの設定」を参考に確認してください。SPM2はIPXプロトコルを使用してプリントサーバと通信を行っていますので、IPXが入っていないとプリントサーバと通信を行うことができず検出されません。IPXが入っているのに認識されない場合『NetWareネットワーククライアント(NTの場合「Client Service for NetWare」, 2000の場合「NetWare用クライアントサービス」)』が追加されているか確認してください。

Q. IPアドレスの設定を変更しようとarpコマンドを実行したがpingが通らない。

A. 一度arpコマンドを通すとMini100m/300mの設定内容が変更され、設定内容を戻さないとarpが通らなくなります。以下の手順でMini 100m/300mのTCP/IPの設定を変更してください。

- 1 [スタート] [プログラム] [SMART PRINT MANAGER]と選択して「SMART PRINT MANAGER」を起動してください。
- 2 .検出されたMini100m/300mをクリックして[TCP/IPプロトコル]をクリックしてください。
- 3 [IP割当て...]をクリックして「自動的に使用中のものに割り当てる」をチェックして[RARP]と[BOOTP]をチェックして[OK]をクリックしてください。
- 4 [環境設定]に戻って[環境設定を保存]をクリックしてください。

以上でまたarpコマンドが使用できるようになります。

Q.印刷がうまく行かない。

A.以下の手順で双方向機能が有効になっていないか確認してください。

- 1[設定]「プリンタ」を開いてプリンタドライバのプロパティを開いてください。
- 2[詳細]をクリックして「スプールの設定」をクリックしてください。
- 3.「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」がチェックされていたら「サポートしない」に変更してください。

Q.他のコンピュータが印刷中に印刷を実行するとエラーになってしまう。

A.NTサーバやNetWareサーバを経由しないで、直接プリントサーバに印刷データを送る環境で設定をしている時に発生します。回避するためにはNTサーバかNetWareサーバをネットワーク上に設置して、印刷データをサーバにスプールする(サーバ上に一旦データを貯めておく)ような環境にする必要があります。

Q.TCP/IPで設定しようとしているがMini100m/300mが見えてこない

A.IPアドレスは正しく設定されてますでしょうか。マニュアルに記載されているIPアドレスはあくまで例ですので、そのままマニュアル通りのIPアドレスを入力しても認識されません。IPアドレスの設定手順については付録C「ネットワーク設定ガイド」を参考に行なってください。TCP/IPネットワークの場合、全てのコンピュータとMini100m/300mに異なるIPアドレスを割り当てる必要があります。

Q.印刷すると別なポートに接続されたプリンタから出力される
(Mini300m)

A.出力先のポートの指定を間違えてないでしょうか。出荷時の設定ではLPT1が「PS-*****-P1」、LPT2が「PS-*****-P2」、LPT3が「PS-*****-P3」にそれぞれ設定されております。LPT2に接続されたプリンタに出力したい場合は「PS-*****-P2」を選択する必要があります。選択時に「PS-*****-P1」や「PS-*****-P3」を選択していないか確認してください。

仕様

Mini100m

アクセス方法	CSMA/CD 10/100Mbps
規格	IEEE802.3、IEEE802.3u、10BASE-T、 100BASE-TX
転送速度	10Mbps、100Mbps
対応メディア	UTP/STPケーブル、カテゴリ-5
ネットワークポート	10BASE-T/100BASE-TX RJ-45ポート×1ポート
パラレルポート	36ピンセントロニクスパラレルポート×1ポート
LED表示	Power/Tx、Lk/Rx、LPT
入力電源	DC5V、1.6A
消費電力	最大3.5W
動作温度	0～40
動作湿度	10～90%（結露しないこと）
寸法（W×D×H）mm	92.8×58×25.3
重量	65g
EMI	FCC Class A、VCCI Class A、

Mini300m

アクセス方法	CSMA/CD 10/100Mbps
規格	IEEE802.3、IEEE802.3u、10BASE-T、100BASE-TX
転送速度	10Mbps、100Mbps
対応メディア	UTP/STPケーブル、カテゴリ-5
ネットワークポート	10BASE-T/100BASE-TX RJ-45ポート×1ポート
パラレルポート	D-SUB25ピンパラレルポート×3ポート
LED表示	Power/Tx、Lk/Rx、LPT1、LPT1、LPT3
入力電源	DC5V、1.6A
消費電力	最大5.7W
動作温度	0～40
動作湿度	10～90%（結露しないこと）
寸法（W×D×H）mm	223.3×35×131.7
重量	430g
EMI	FCC Class A、VCCI Class A

ネットワーク設定ガイド

ネ ットワークアダプタはドライバのインストールを行っただけではネットワーク上の他のコンピュータと通信を行うことはできません。通信を行うためにはネットワークの設定を行う必要があります。

ここでは、Windows 95/98環境でNetBEUI(ネットビューイ)、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してピアツーピア接続をする場合のネットワーク設定について説明します。

最初に本製品およびドライバのシステムへのインストールが完了している事を確認し、本製品のRJ-45ポートとハブをツイストペア・ストレートケーブルで接続してください。

1. Windows95/98でのネットワーク設定

Windows95/98のネットワークの設定は「コントロールパネル」「ネットワーク」で行います。「ネットワークの設定」の「現在のネットワークコンポーネント」で、現在のネットワークの設定状況を表しています。左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。



クライアント



アダプタ



プロトコル



サービス

アダプタが複数存在する場合、それぞれのプロトコルの設定がどのアダプタに対して有効になるのか見分けるため、右側にアダプタの名前が表示されます。これを「バインド先」と言います。アダプタが1つしかない場合はバインド先も1つしかないため右側には何も表示されません。

NetBEUIプロトコルで設定を行う場合は、C-2「NetBEUIを使用したネットワークの設定」から始めてください。

TCP/IPプロトコルで設定を行う場合は、C-3「TCP/IPを使用したネットワークの設定」から始めてください。

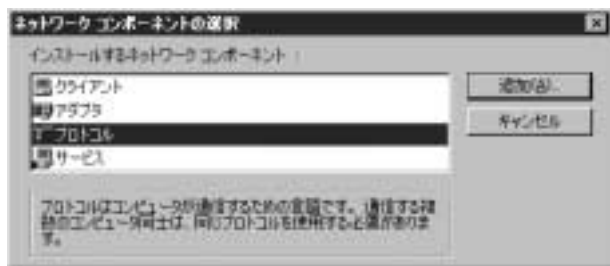
その後、C-4「ユーザー情報の設定」を行うとネットワークに接続ができるようになります。



2. NetBEUIを使用したネットワークの設定

「現在のネットワーク構成」の中に「NetBEUIプロトコル」が入っていない場合は、以下の手順でNetBEUIプロトコルを追加してください。

- 1 [追加] ボタンをクリックすると「ネットワーク構成ファイルの追加」ウインドウが開きます。「プロトコル」をクリックして[追加] ボタンをクリックしてください。



2.「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウが開きます。「製造元」で「Microsoft」をクリックすると「ネットワークプロトコル」に一覧が表示されます。「NetBEUI」をクリックして[OK]ボタンをクリックしてください。



これでネットワークの構成にNetBEUIプロトコルが追加されます。ネットワークの構成に「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」が入っていない場合、プロトコルのインストールと同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。

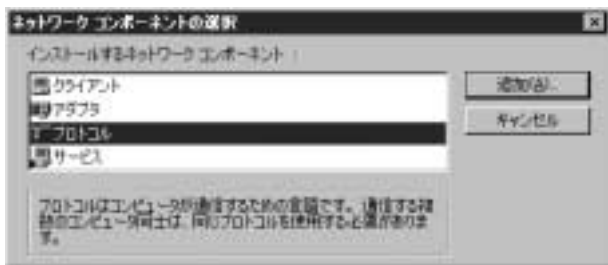
TCP/IPプロトコルを設定しない場合は、C-4「ユーザー情報の設定」へ進んでください。

3. TCP/IPを使用したネットワークの設定

「現在のネットワーク構成」の中に「TCP/IP」が入っていない場合は、以下の手順でTCP/IPプロトコルを追加してください。

TCP/IPプロトコルの追加

- 1 [追加] ボタンをクリックすると「ネットワーク構成ファイルの追加」ウインドウが開きます。「プロトコル」をクリックして[追加] ボタンをクリックしてください。



2.「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウが開きます。「製造元」で「Microsoft」を選択して「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「TCP/IP」をクリックして[OK]ボタンをクリックしてください。



ネットワークの構成にTCP/IPプロトコルが追加されます。「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。

IPアドレスの設定

TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ(ネットワークアダプタ)ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。

1. 「TCP/IP LANカードの名前」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックしてください。



2. 「IPアドレス」タブを選択して、IPアドレスを設定します。初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得」がチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「IPアドレスを指定」をチェックしてください。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。

3. ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレスとして定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例では、IPアドレスを「192.168.100.101」に「サブネットマスク」を「255.255.255.0」に設定しています。



4. IPアドレスの設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし「TCP/IP のプロパティ」を閉じてください。

注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合は、それぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.100.101」だとすると2台目を「192.168.100.102」3台目を「192.168.100.103」4台目を「192.168.100.104」のように設定してください。またサブネットマスクはネットワーク上で全て同一にする必要があります。ここでは全て「255.255.255.0」に設定してください。

4. ユーザー情報の設定

C-2またはC-3の設定が完了したら、ユーザー情報の設定を行います。ワークグループ名はそのコンピュータが属するネットワークを表し、コンピュータ名はネットワーク上でのそのコンピュータの名前を表します。

1. 「識別情報」(Windows95では「ユーザー情報」)タブをクリックすると以下のようなウィンドウが表示されます。以下の各項目を入力してください。



コンピュータ名

使用しているコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。

ワークグループ

使用しているコンピュータが属するネットワーク名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと、所属するネットワークが異なるために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示する事ができなくなります。ネットワーク上の全てのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。

コンピュータの説明

使用しているコンピュータに関する追加情報があれば記述します。特に記述しなくてもかまいません。

- 2[ネットワークの設定]タブをクリックします。「優先的にログオンする」をクリックして「Microsoftネットワーククライアント」を選択します。「Microsoftネットワーククライアント」を選択できない場合は、「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」を追加してください。



- 3.全ての設定が終了したら「ネットワーク」のプロパティの[OK] ボタンをクリックします。コンピュータを再起動するか聞いてきますので「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。WindowsのインストールCD-ROMを要求するウインドウが表示される場合は、WindowsインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータアイコンをダブルクリックするとネットワークで接続されている他のコンピュータにアクセスする事ができるようになります。

※ 起動時のパスワード入力を「キャンセル」するとネットワークに入れないことがあります。
[OK]をクリックするかパスワードを入力して起動するようにして下さい。

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

グリーンマークについて



本製品は、グリーンマーク事業に協賛し、パッケージに再生紙を利用しています。グリーンマーク事業とは、紙のリサイクルを推進することを目的とした事業ですが、併せて環境の緑化も目的としています。パッケージ裏面にあるグリーンマークを、学校あるいは町内会、自治体単位で集め、財団法人古紙再生促進センターに送っていただくと、苗木、またはセンターオリジナルのノートが送られます。詳しくは、財団法人古紙再生促進センター（電話 03-3541-9171）までお問い合わせ下さい。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行
FAX : 03-3256-9207

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	FAST ETHERNET PRINT SERVER
型番 Product No.	Mini100m/300m
製造番号 Serial No.	

INTERFACE CARD

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

ご使用のプリンタについて

メーカー	バージョン
型番	バージョン

保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後1ヵ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1ヵ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承願います。なお、弊社はSENDバック方式をとらせていただいております。故障の場合には、必ず弊社サポートフリーダイヤルにご連絡下さいませようお願いいたします。受付番号を発行いたしますので、番号を明記の上、以下の住所まで製品をお客様送料ご負担にて郵送してください。

東京都北区赤羽台3-1-9 日通赤羽支店内
プラネックスコミュニケーションズ株式会社 リペアセンター
フリーダイヤル：0120-415977

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

- 1.ユーザー登録を行っていない場合
- 2.購入日が明記されていない場合
- 3.取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
- 4.お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
- 5.火災、天災、地震、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

※ 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

※ 保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

※ 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

■ 免責事項 ■

火災、自身、第三者による行為、事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異状と思われる条件での使用により発生した損害に関して弊社は一切責任を負いません。ユーザーズマニュアルの記載事項を守らないことにより生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。

本製品の使用または、使用不能から生じて付随した損害(事業の中断、事業利益の損失、記憶内容の変化、消失等)に関して一切責任を負いません。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1年間
製品名	FAST ETHERNET PRINT SERVER
型番 Product No.	Mini100m/300m
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
電話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。
なお弊社ホームページにてユーザー登録をおこなって
いただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-3256-9207

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

No.PMN-00-06-TN-Mini100m/300m

プラネックスコミュニケーションズ株式会社



Mini100m/300m Windows Me インストールについて

PCI製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

<Windows Meで使用する場合>

マニュアルのWindows 98へのインストール手順をご参照ください。同手順でご利用いただけます。

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。